

# 将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる 小学校キャリア教育の推進に関する研究

- 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした  
特別活動の指導計画を中心として -

(第1年次)

研究協力校  
花巻市立湯口小学校

岩手県立総合教育センター  
教科領域教育室  
前川岳詩

## 《 目 次 》

研究の目的	1
研究の方向性	1
研究の年次計画	1
本年度の研究内容与方法	1
1 目標	1
2 内容与方法	2
3 研究協力校	2
研究結果の分析と考察	2
1 将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進に関する基本構想	2
(1) 将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる 小学校キャリア教育の推進に関する基本的な考え方	2
(2) 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした 特別活動の指導計画の作成に関する基本的な考え方	6
(3) 将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる 小学校キャリア教育の推進に関する基本構想図	10
2 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成に関する推進試案	11
(1) 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成手順	11
(2) 特別活動指導計画の内容と作成上の留意点	11
(3) 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成に関する推進試案	13
3 キャリア教育全体構想の立案	13
(1) キャリア教育学習プログラムの枠組み作成	13
(2) キャリア教育全体計画の作成	13
(3) キャリア教育全体構想表の作成	14
4 キャリア教育指導構想の立案	16
(1) 特別活動におけるキャリア教育の年問題材一覧(試案)	16
研究のまとめ	19
1 研究の成果	19
2 研究の課題	19

おわりに

【引用文献・引用Webページ】

【参考文献】

【補充資料】

## 研究の目的

産業・経済の構造的変化、雇用形態の多様化や流動化等を背景として、就職・就業をめぐる環境が激変している。また、最近の若者の離職率の高さやフリーター、ニートの増加などから、勤労観・職業観の未熟さや職業人としての基礎的資質・能力の低下が懸念されている。また、学校教育においては、将来の自分の夢を描けず、学ぶ目的や意欲が欠如した子どもたちの増加も指摘されている。こうした子どもたちの進路にかかわる諸問題を背景に、次代を担う人材の育成の上からも、児童生徒の発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を、早期から推進することが必要とされている。

しかし、小学校段階においては、総合的な学習の時間等の実践により体験的に働く人々の姿や考え方、生き方等に触れる機会は従来よりも増えたものの、生き方指導として組織的・系統的に教育課程に位置付けられ指導されていなかったため、それらを自身の日常生活の有り様や将来の姿に結び付けていく面が弱かった。

このような状況を改善するためには、中学校での進路指導に結び付く「自他の理解や関係作り」、「将来の夢や希望」、「身の周りの仕事や社会への関心・意欲」、「進んで働き目標達成に向けて努力する態度」等を具体的に達成すべき諸能力として定義付け、進路発達を踏まえた到達目標を設定して段階的に身に付けさせる組織的・系統的な指導が必要である。

そこで、この研究は、小学校特別活動に焦点をあて、進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした指導計画の作成及び実践をとおして、将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進に役立てようとするものである。

## 研究の方向性

小学校における将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てるキャリア教育の推進に資するため、進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動の実践的な指導計画を作成し、特別活動を中心として展開する小学校キャリア教育のモデルカリキュラムを提示する。

## 研究の年次計画

本研究は、平成17年度から平成18年度にわたる2年次研究である。

### 第1年次（平成17年度）

将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進に関する基本構想の立案、推進試案の作成、キャリア教育学習プログラムの枠組みの作成、キャリア教育全体計画の作成及びキャリア教育指導構想表の作成

### 第2年次（平成18年度）

キャリア教育全体計画に基づく特別活動指導計画の作成、指導実践とその分析・考察、特別活動を中心とするキャリア教育モデルカリキュラムの提示、将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進に関する研究のまとめ

## 本年度の研究内容と方法

### 1 目標

文献等から学校教育におけるキャリア教育の意義や位置付けを分析・検討した上で、児童の発達段階に応じた進路発達にかかわる能力目標の設定及びキャリア教育全体計画の作成、目標実現

のための指導構想の立案等を行い、キャリア教育モデルカリキュラムとしての特別活動指導計画作成上の視点と方向性を明らかにする。

## 2 内容と方法

- (1) 将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進に関する基本構想の立案（文献法）

キャリア教育関連の報告書や文献、先行研究等を基にキャリア教育の意義や学校教育における位置付け、めざすべき児童像等を明らかにし、将来を見つめ自らの生き方を育てる小学校キャリア教育の推進についての基本構想を立案する。

- (2) 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成に関する推進試案の作成（文献法）

文献、先行研究等を基に、進路発達の育成を軸とした特別活動指導計画作成のための手順や留意点、指導の工夫点等を検討し、進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成に関する推進試案を提示する。

- (3) キャリア教育全体構想の立案（文献法、調査法）

先行研究や文献、研究協力校での児童の実態や地域環境等の調査結果を基に、育成すべき能力を児童の発達段階毎に示したキャリア教育学習プログラムの枠組みとキャリア教育全体計画及び全体構想表を作成し、キャリア教育の全体構想を立案する。

## 3 研究協力校

花巻市立湯口小学校

## 研究結果の分析と考察

- 1 将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進に関する基本構想

- (1) 将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進に関する基本的な考え方

### ア 児童生徒の生き方や進路にかかわる社会問題と学校教育の課題

現代社会において、児童生徒の自らの生き方や進路にかかわる問題が深刻化してきている。

文部科学省より示された「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」（平成16年、以下「キャリア教育報告書」と略す）では、以下のような問題点が指摘されている。

高等学校進学者の中途退学者の増加、大学進学者の無気力化、高等学校、大学卒業後のフリーターやニートの増加、若年層の早期離退職といった青少年の勤労意識や職業意識の希薄化に伴う職業に関する問題、さらに、円滑な人間関係が構築できない、自己の問題を自分で適切に処理できない、精神的、社会的な自立を果たせない、生きる喜びや充実感を感得できない等の自らの人生を主体的に生き抜こうとする力を欠いた大人の増加等の問題である。

同報告書は、児童生徒が学ぶ学校生活においても、子どもたちの将来の生き方や進路にかかわる問題状況を指摘している。具体的には、不登校やいじめ、集団不適応、非行等の問題行動、将来の夢や憧れの喪失、学ぶ意欲や学力の低下、主体性や自発性の欠如、学校での学びと社会生活との分断等の問題である。これらの児童生徒の生き方や進路にかかわる多くの問題は、現代の学校教育が抱える問題の根幹をなすものとも言える。

このような児童生徒の生き方や進路にかかわる深刻な問題状況を改善していくためには、子どもたちが自らの意思で自らの進路を決定し、自分と社会とのかかわりの中で自分の生き方を見つめながら自己実現を図り、主体的に人生を歩んでいく力を育てていくことが必要で

ある。そのために学校教育においては、子どもたちの学校での学びが自らの豊かな社会生活に生きて働くものになるように、社会人や職業人としての資質や能力を高めたり、豊かな人間性を育成したりする教育が求められている。

しかしながら、これまで子どもたちの進路にかかわる指導として中心に行われてきた中学校、高等学校での「進路指導」は、眼前の上級学校への進学や就職のための「受験指導・就職案内」的な

一元的進路指導にとどまりがち傾向が見られた。そのため、子どもたちの将来の職業生活や人生設計等を見通し、子どもたち自身の「生き方」という視点からの指導は弱かった。中学校学習指導要領では進路指導について、「生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、計画的、組織的な指導を行うこと」と記されているが、その実現は十分とは言い難い現状にある。

ましてや、小学校においては、学習指導要領上に「進路指導」という位置付けが無く、人生をいかに生きるかといった生き方指導の視点から、児童に自らの進路の在り様を考えさせたり、適切な進路選択のために必要な態度や力を養ったりする組織的・系統的な教育は、あまりなされてこなかった。このような状況を受け、及川(1997)は、小学校においても「主体的に生きていく力」の育成にかかわる指導を「進路指導」という視点から見直し、有機的に機能させていくことの必要性を主張している。

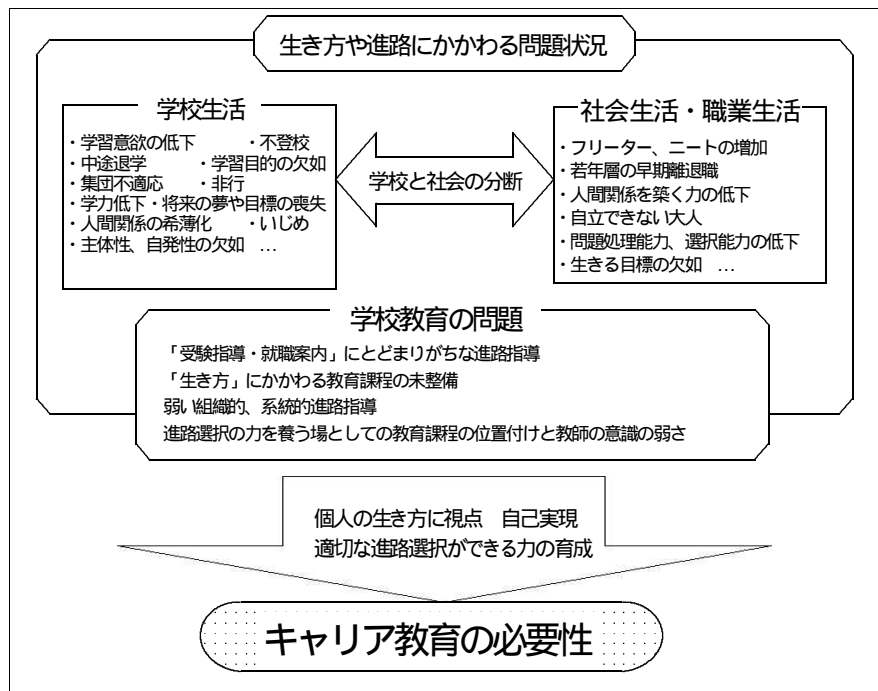
以上に示すように、現在の学校教育において、「個人の生き方」といった視点から一人一人の子どもの自己実現を図り、自らの人生を主体的に生きる力として適切な進路選択ができる力を養う教育、すなわち「キャリア教育」をどのように行っていくか、その在り方が重要な課題となっている。

生き方や進路にかかわる問題状況とキャリア教育の必要性を【図1】にまとめた。

## イ 小学校においてキャリア教育を推進することの意義

### (ア) キャリア教育とは何か

「キャリア教育」という文言が、文部科学行政関連の公文書の中で初めて示されたのが、中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」(平成11年)においてである。この中で、キャリア教育について、「望ましい職業観・勤労観及び職業に対する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」という説明がなされている。また、「キャリア教育報告書」(文部科学省)では、「キャリア」を「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」ととらえ、「キャリア教育」について、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育。端的には、児童生徒一人一人の勤労観・職業観を育てる教育」と定



【図1】生き方や進路にかかわる問題状況とキャリア教育の必要性

義付けている。

以上の答申、調査報告等から、キャリア教育とは、児童生徒の「人間としての生き方」にかかわる指導・援助であり、個々の児童生徒が自らの将来の生活において、社会的・職業的な自己実現を図り、主体的な生き方ができるよう適切な価値観や態度、能力を育む教育活動であるととらえることができる。本研究においては、キャリア教育の定義と目的を以下のように定める。

<p>キャリア教育の定義</p> <p>児童生徒が働くことにかかわりながら自己実現が図られるよう、一人一人の進路発達を支援し、望ましい勤労観・職業観を育み、主体的に自らの生き方や進路を選択決定できる能力・態度を育成する教育</p> <p>キャリア教育の目的</p> <p>一人一人の児童生徒の自己実現を図り、自らの人生を主体的に生きるための価値観や能力・態度を育成する</p>
--

「進路発達」とは、児童生徒が自らの生き方や進路を主体的に選択できる力を獲得するまでに育むべき成長、発達のプロセスととらえる。「勤労観」とは、勤労に対する価値的な理解であり、働くことそのものに対する個人の価値的な見方や考え方、態度である。また、「職業観」とは、職業に対する価値的な理解であり、生きていく上での職業の意義や役割についての認識である。

(イ) キャリア教育の範囲と内容

個々人のキャリアは、学校教育にとどまらず生涯を通じて形成されていくものであるが、本研究においては、取り上げるキャリア教育の期間を小学校から高等学校までの12年間とし、その中の小学校におけるキャリア教育の位置付けや在り方について明らかにしていく。

【表1】本研究におけるキャリア教育の目的と内容についてのとらえ

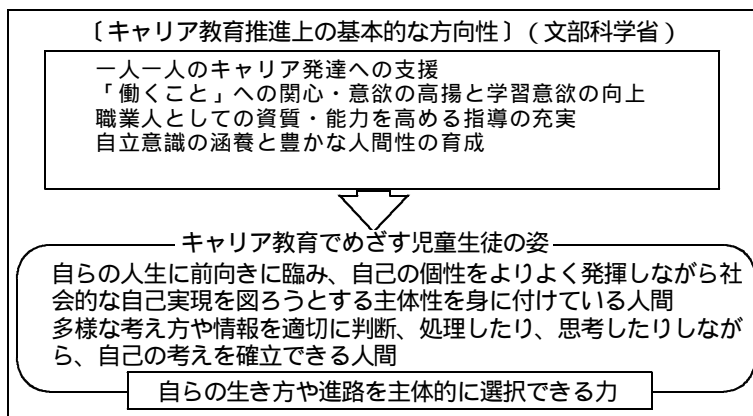
キャリア教育	定義	児童生徒が働くことにかかわりながら自己実現が図られるよう、一人一人の進路発達を支援し、望ましい勤労観・職業観を育み、主体的に自らの生き方や進路を選択できる能力・態度を育成する教育
	目的	一人一人の児童生徒の自己実現を図り、自らの人生を主体的に生きるための価値観や能力・態度を育成する
	範囲	小学校から高等学校までの12年間
	内容	望ましい進路発達を促すための勤労観・職業観に関する内容（働くことへの価値観形成にかかわる内容） 自らの生き方や進路を主体的に選択できる能力・態度に関する内容（生き方や進路の選択能力や態度の育成にかかわる内容）

先に示したように、キャリア教育の目的は、児童生徒が自らの人生を主体的に生きるための価値観及び能力・態度を育てることである。よって、本研究ではキャリア教育で扱う教育内容を、【表1】に示すように、望ましい進路発達を促すための勤労観・職業観に関するものと、生き方や進路の選択にかかわる能力・態度に関するものととらえることとする。

(ウ) キャリア教育において児童生徒に培う力

文部科学省は、「キャリア教育報告書」において、キャリア教育を推進する上での基本とすべき方向性について、【図2】に示す四点を挙げた。

この報告書に基づき、本研究では同図のように、小学校から高等学校までのキャリア教育においてめざす児童生徒の姿を、「自らの人生に前向きに臨み、自己の個性



【図2】キャリア教育でめざす児童生徒の姿

をよりよく発揮しながら社会的な自己実現を図ろうとする主体性を身に付けている人間」「多様な考え方や情報を適切に判断、処理したり、思考したりしながら、自己の考えを確立できる人間」と定めた。

そして、このめざす姿に迫るために児童生徒に培う力を、「自らの生き方や進路を主体的に選択できる力」と定めた。これは、児童生徒が自らの人生において、自己の個性をよりよく発揮しながら自己実現を図り、生きる喜びを感じ、主体的な生き方ができるようになるために必要となる力である。具体的には、自らの生き方や進路の選択決定に作用する能力・態度ととらえる。

#### (I) 小学校におけるキャリア教育推進の意義

中央教育審議会は「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」の答申において、「望ましい職業観・勤労観及び職業に対する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育を小学校段階から発達段階に応じて実施する必要がある」と述べている。小学校は、学習指導要領に「進路指導」という明文化された位置付けはなされてはいないが、子どもたちの適切な進路発達を促し、望ましい能力・態度を育てていくためには、以下の三点の理由から児童期である小学校段階からキャリア教育を展開していくことが重要であると考えられる。

##### 進路発達における児童期の重要性

児童期は、空想から興味が育まれ、様々な能力へと発展する段階である。また、児童期は、将来の主体的な進路選択のための基礎的な資質や能力、態度を育成する時期でもあり、進路発達上重要な位置付けをなす。ものの見方や考え方、価値観や人との接し方など、キャリア教育が児童生徒に育成すべき能力や態度は、人間としての生き方に直接かかわるものであり、中学校、高等学校での「進路指導」の時間のみで養われるものでは到底ない。適切な時期に、適切な力を、計画的・系統的に育成していくことがキャリア教育のねらいの実現に必要となる。

##### 組織的・系統的なキャリア教育の推進

児童個々の発達段階に即し、適切な進路発達を図るためには、小学校から高等学校までの各学校段階において、キャリア教育の目的や指導方法を理解し合い、組織的・系統的なキャリア教育を展開していくことが重要となる。「キャリア教育報告書」においても、小・中・高12年間の一貫したキャリア教育の必要性が求められている。とりわけ中学校との接続を意識しながら、小学校でのキャリア教育の充実を図ることは、指導の充実につながるものととらえる。

##### 学校教育における進路にかかわる問題状況の改善

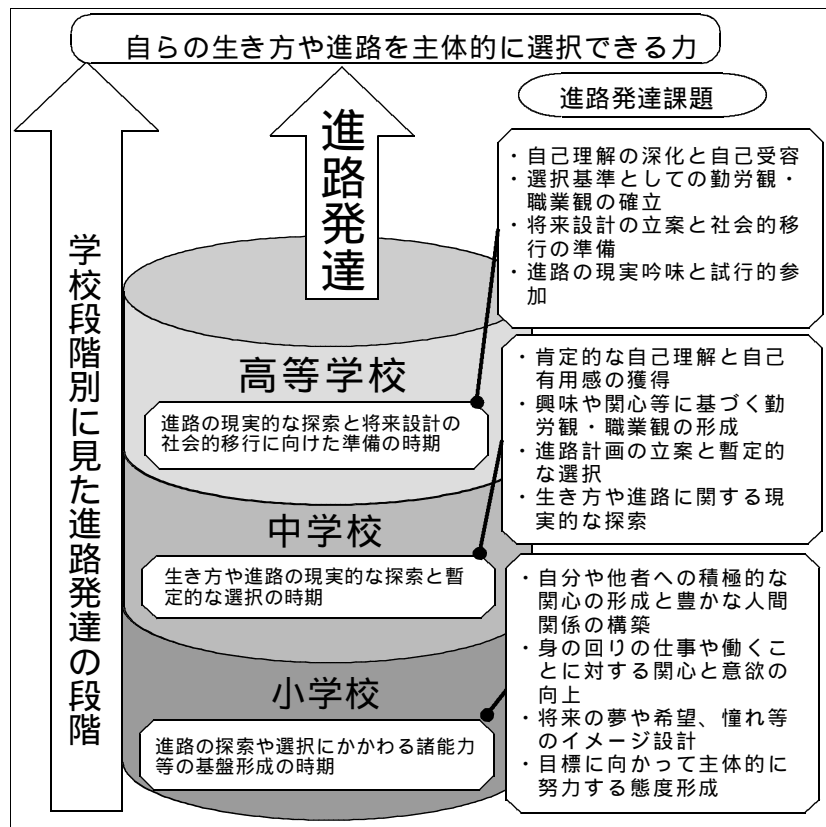
三村(2005)は、「キャリア教育によって、子どもたちは自分の人生を大切にすることを学び、同じように他人を大切にできるようになる。学校内でのいじめの兆候も見当たらなくなる」と主張している。キャリア教育の推進により、児童が自らの将来や進路について主体的に考えようとする力を身に付けることにより、学ぶ意欲が高まり学校生活の向上が期待される。人間関係の改善、学力、生活力の向上、生徒指導上の問題の改善等、子どもたちの生きる力が高まり、2頁【図1】に示した問題状況の改善に資することが期待できる。

ウ 小学校キャリア教育でめざす児童像と将来を見つめ自らの生き方を考える力についてのとらえ

#### (7) 進路発達の段階における小学校期の位置付け

キャリア教育の推進に当たっては、児童生徒が小学校・中学校・高等学校の各発達段階にあって、どのような進路発達上の課題を抱えているかをとらえることが大切である。

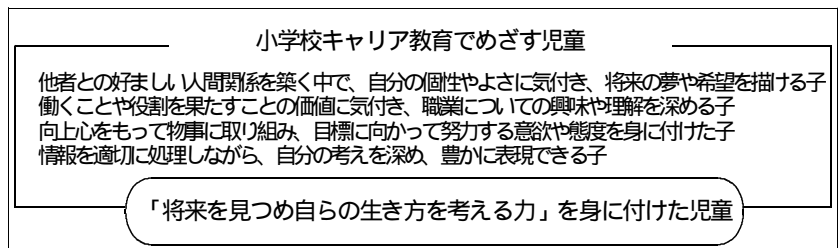
本研究では、平成14年に国立教育政策研究所より示された「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)」（以下、「学習プログラムの枠組み例」と略す）の資料を基に、小学校を「進路の探索や選択にかかわる諸能力等の基盤形成の時期」、中学校を「生き方や進路の現実的な探索と暫定的な選択の時期」、高等学校を「進路の現実的な探索と将来設計の社会的移行に向けた準備の時期」とそれぞれ位置付け、各学校段階における発達課題を【図3】のように設定した。



【図3】児童生徒の進路発達と進路発達課題

(1) 将来を見つめ自らの生き方を考える力についてのとらえ

小学校では、【図3】に示すように「自分や他者への積極的な関心の形成と豊かな人間関係の構築、身の回りの仕事や働くことに対する関心と意欲の向上、将来の夢や希望、憧れ等のイメージ設計、目標に向かって主体的に努力する態度形成」の四点が進路発達上達成が望まれる発達課題である。これらの発達課題を達成した児童が、めざすべき児童であり、その具体像を【図4】のように定めた。そして、この具体像に迫るために小学校キャリア教育において児童に培う力を「将来を見つめ自らの生き方を考える力」とした。この力は、キャリア教育がねらう「自らの生き方や進路を主体的に選択できる力」の基礎的な素地となるものである。



【図4】小学校キャリア教育でめざす児童の姿

(2) 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動の指導計画の作成に関する基本的な考え方

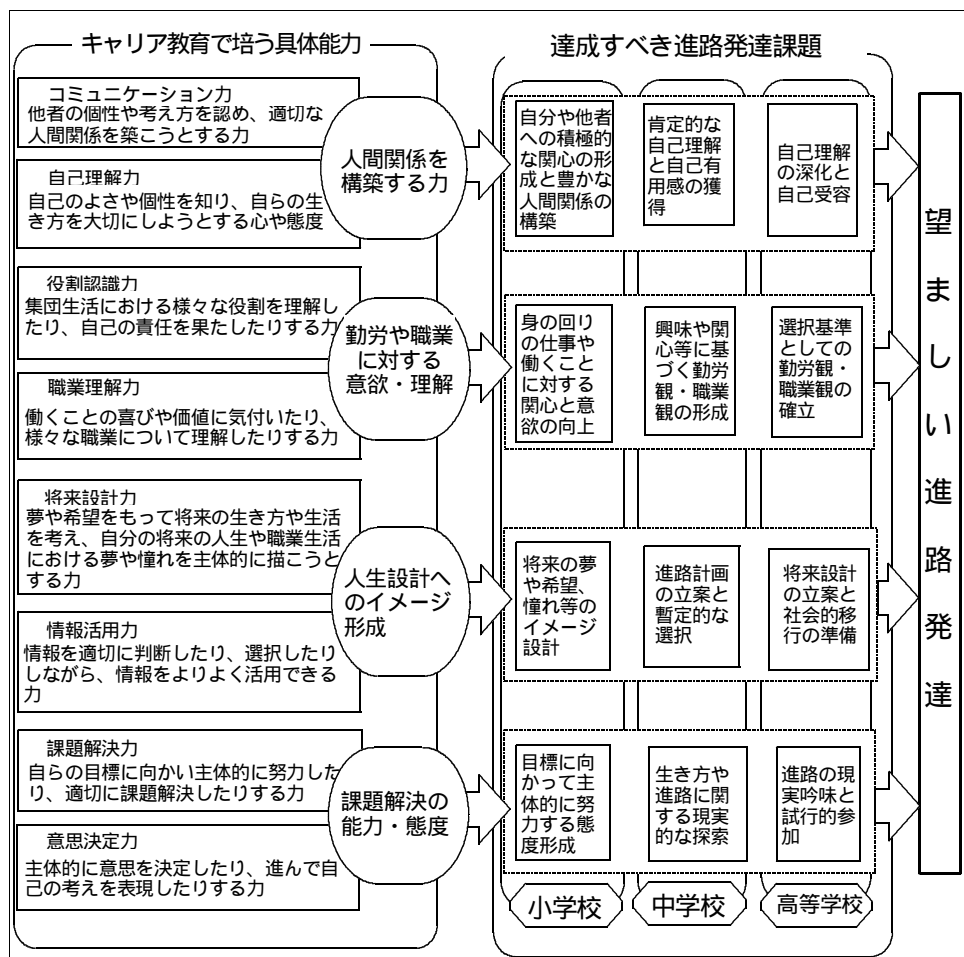
ア 進路発達にかかわる諸能力の育成についてのとらえ

先に示した小学校、中学校、高等学校、それぞれの学校段階における進路発達課題は、次頁【図5】のように、「自他の理解や望ましい人間関係の構築にかかわる能力領域（人間関係を構築する力）、仕事や働くことへの価値の理解や意欲にかかわる能力領域（勤労や職業に対する意欲・理解）、将来の夢や希望、憧れ等の人生設計にかかわる能力領域（人生設計へのイメージ形成）、目標に向かって努力する態度の形成にかかわる能力領域（課題解決の能力・態度）」という四つの能力領域を育むことによって達成されると考えた。キャリア教育の推進



においては、これらの能力領域の視点から児童生徒の進路発達をバランスよく支援し、めざす力を育てていくことが大切であるととらえる。

これらの能力領域を具体化し、キャリア教育で児童生徒に培う能力として「キャリア教育学習プログラムの枠組み例」(国立教育政策研究所)を基に設定したのが、【図5】の八つの具体能力である。育てるべき能力を具体的に設定することにより、達成すべき進路発達課題が明確になり、



目標を焦点化したキャリア教育の展開ができると考える。

そして、児童生徒が望ましい進路発達を遂げることにより、自らの人生をよりよく生きる力が高まるものと考えます。

イ 小学校におけるキャリア教育推進についての基本的なとらえ

(ア) 小学校におけるキャリア教育推進の視点

小学校学習指導要領には、「キャリア教育」「進路指導」等の文言の記載はないが、小学校学習指導要領総則の教育課程編成の一般方針の項において、「各学校においては、児童の生きる力を育むことをめざし、創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開する中で、自ら学び自ら考える力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。」と記されている。このことは、一人一人の子どもの進路発達を支援し、望ましい勤労観・職業観を育み、主体的に自らの生き方や進路を選択決定できる能力・態度を育成することをめざしたキャリア教育の目的と合致するものである。三村(2005)は、「キャリア教育は新しい教育ではない。今までの授業や学校生活の中に、その材料がある。例えば、日常行われる清掃活動や給食の配膳の仕事等も勤労観の育成に大きな役割を担う。」と主張する。また、渡辺(2003)は、「キャリア教育は、教育活動全体で取り組むものであり、新たにキャリア教育専用の活動を取り入れる必要はない。キャリア教育は、児童生徒が、自分の人生を主体的に生きられるようになるために、必要な能力や態度、知識をどのように育てるかという視点から全教育活動を見直すことである。」と述べている。したがって、キャリア教育は別個な教育課程を編成して展開するのではなく、現行の教育課程をキャリア教育の視点からとらえ直し、それぞれ

の教育課程を推進する中で目標の実現を図っていくものととらえる。そこで、小学校においてキャリア教育を推進するに際し、以下の二点を基本的な考え方として押さえる。

一点は、新たな教育課程を創設したり、「キャリア教育」としての特定の時間を設定したりするのではなく、教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の既存の指導計画を生かしたり、通常行われている給食指導や清掃指導等の日常活動を通じたりしながら、学校教育全体をとおした中でキャリア教育を展開していくということである。

もう一点は、教科等の各教育課程にキャリア教育で培うべき諸能力を計画的・系統的に位置付けていくということである。各教育課程において、進路発達にかかわる八つの能力を、どこどのように育てていくかを明らかにし、キャリア教育の推進を図っていくことが重要となる。そのために、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の各教育課程でキャリア教育の視点として位置付けられる内容と、培うべき能力を押さえていくことが必要となる。キャリア教育及び各教育課程双方の目標が相乗的に実現され、児童に生きる力が育まれるものととらえる。

#### (1) 特別活動を中心としてキャリア教育の推進を図ることの意義

小学校学習指導要領に示された特別活動の目標は次のとおりである。

「望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸張を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。」

この目標に示された「心身の調和のとれた発達と個性の伸張を図る」「集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」ことは、一人一人の児童が自らの生き方の中で自己実現を図ることをめざすキャリア教育の方向性と一致するものである。前頁【図5】で示したキャリア教育で培う八つの具体能力は、個性の発見や理解、社会性の育成といった特別活動で育成すべき資質や能力と重なるものである。

さらに、特別活動は教科や他領域等との関連が大きいことから、特別活動でのキャリア教育の効果を教科、他領域に転移させたり、教科等との関連を生かした重点的なキャリア教育を展開したりすることが期待できる。

また、中学校、高等学校ではキャリア教育の中核をなす進路指導が学級活動やホームルーム活動の中で行われることが多いことから、小学校においても、特別活動をキャリア推進の核に位置付けることで、小・中・高一貫したキャリア教育の充実を図ることができると考える。

以上の三点の理由から、特別活動はキャリア教育の視点を多く内包した教育活動であるととらえる。よって本研究においては、特別活動を中心としたキャリア教育の推進の在り方について考えていくこととする。

#### ウ 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動の指導計画作成の視点

##### (ア) 特別活動におけるキャリア教育展開についての基本的な考え方

本研究においては、特別活動において進路発達にかかわる諸能力の育成を図る視点として、以下の二点を基本的な考え方として押さえる。

第一点は、特別活動を構成する四つの内容（学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）における活動題材への直接的なかわりをおして、目的とする能力の育成を図ることである。

第二点は、特別活動の活動形態そのものを、諸能力の育成の場として位置付けることである。特別活動は、基本的に「話し合い活動」「実践活動」「振り返り活動」という三つの活動形態をとることが多い。題材への直接的なかわりの場だけではなく、その題材について児童個々の意見や考えを交流し合う話し合いの場や、実践活動を顧み、自らの成長や課題を明らかにしていく振り返りの場等も、進路発達にかかわる重要な諸能力育成の場ととらえていく。

以上のように、特別活動においては、直接的な実践活動の場と、題材に対する話合いや振り返りの場をキャリア教育を展開する場として押さえる。

#### (1) 特別活動におけるキャリア教育の視点

特別活動においてキャリア教育を展開していく際には、活動内容や活動形態の特質とねらいを押さえた上で、活動の中に育成すべき諸能力を位置付けていくことが重要となる。特別活動の活動内容（学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）及び活動形態（「話合い活動」「実践活動」「振り返り活動」）におけるキャリア教育の視点を以下に示す。

##### 特別活動の内容とキャリア教育の視点

###### 学級活動

学級活動は、「児童一人一人が、集団の中で自己を生かし、日常生活を営むために必要な行動の仕方を身に付けるなど、健全な生活態度の育成にかかわる活動」（「小学校学習指導要領解説特別活動編」）である。また、同解説書は、「学級活動などにおいて、児童が自ら現在及び将来の生き方を考えることができるよう工夫すること」も求めている。このように、学級活動がめざす方向性は、一人一人の自己実現を図り、主体的な人生を歩むための力の育成をめざすキャリア教育の方向性とも重なるものである。したがって、特別活動におけるキャリア教育の推進に当たり、学級活動をその基盤に位置付けるものとする。

###### 児童会活動

児童会活動は、全校児童で組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図るために協力して問題を解決することを特質としている。集団の中で異年齢集団による活動をとおり、協力して活動することの意義を理解したり、集団の一員としての自覚、奉仕の精神や個性を伸張する場として位置付けていく。

###### クラブ活動

クラブ活動は、主として第4学年以上の同好の児童で組織され、共通の興味・関心を追究する活動を特質とする。自己の興味を追究することとおし、将来に向けた夢や希望を醸成する場として位置付ける。また、異年齢集団による活動をとおり、自己や他者の個性やよさに気付き、望ましい人間関係を構築する力を育成することができる。また、自己の役割を果たす大切さや目標に向かって努力することの価値を学ぶ場として位置付けていく。

###### 学校行事

学校行事は、(1)儀式的行事、(2)学芸的行事、(3)健康安全・体育的行事、(4)遠足・集団宿泊的行事、(5)勤労生産・奉仕的行事の五つの内容から構成されている。いずれの行事においても、集団生活を支える役割や立場の大切さを学んだり、個性を尊重したりする場としての位置付けられる。また、勤労生産・奉仕的行事は、勤労観や職業観などの働くことに対する価値観を形成したり、職業についての理解を深めたりする場として位置付けていく。

##### 特別活動の活動形態とキャリア教育の視点

###### 話合い活動

話合い活動は、学校生活の充実と向上についての解決策を決めたり、日常生活や学習への適応及び安全に関することについて情報交換したりする際の中心的な活動であり、設定された主題にいてその解決や準備等を目的とした活動であるが、本研究においては話合い活動そのものも、進路発達にかかわる諸能力育成の場と位置付ける。具体的には、コミュニケーション力、自己理解力、課題解決力、意思決定力等の育成の場とする。

###### 実践活動

「なすことによって学ぶ」ことが特質とされる（小学校学習指導要領解説特別活動編）特別活動において中心的な活動であり、進路発達にかかわる全能力育成の場として具体的な体験活動をとおり、目標の実現を図る。

###### 振り返り活動

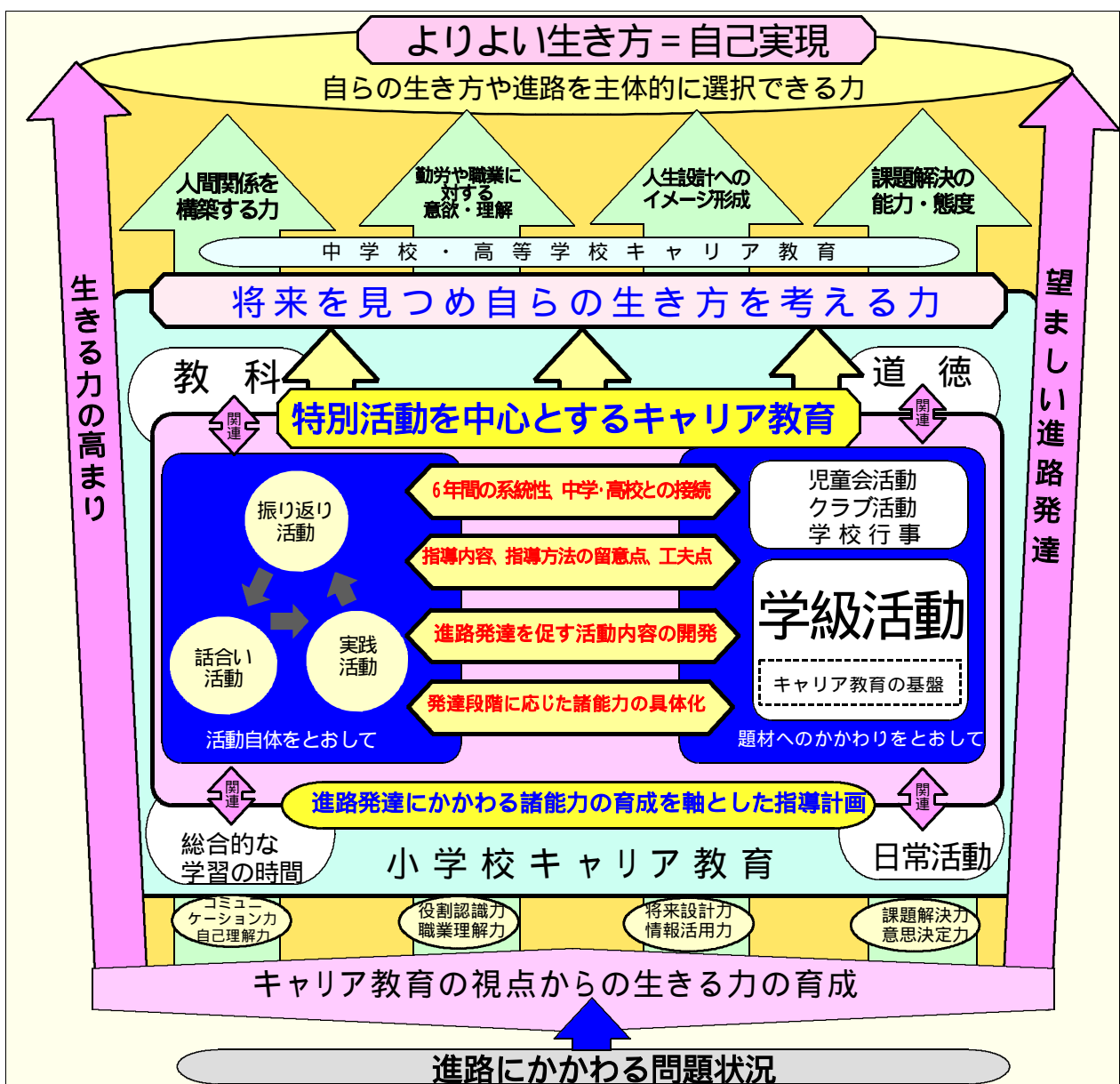
振り返り活動は、事前に立てた活動の目標を顧みながら、自他の活動の成果や成長等について振り返る場である。この活動においては、主に自己理解力、将来設計力、意思決定力を育成する場として位置付ける。

(ウ) 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動の指導計画作成上の視点

特別活動を中心としたキャリア教育は、進路発達にかかわる諸能力の育成の方途を的確に示した指導計画の基で展開される。その作成に当たっては、前項の特別活動におけるキャリア教育の視点を押さえた上で、指導の内容と方法を明示し、具体的な授業実践につながる実践的な指導計画になるよう留意しなければならない。そのための、特別活動指導計画作成の視点として次の六点を考える。

児童の学年に応じた進路発達課題と育成すべき諸能力を具体的に設定する。  
 特別活動を構成する四内容（学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）や基本的な活動形態（話し合い活動、実践活動、振り返り活動）の特質を生かす。  
 望ましい進路発達を図るための活動内容を開発する。  
 望ましい進路発達を図るための指導内容と指導方法の留意点、工夫点を盛り込む。  
 他教科、他領域等との関連を考慮する。  
 小学校6年間の系統性、及び中学校や高等学校との一貫性や関連を考慮する。

- (3) 将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進に関する基本構想図  
 これまで述べてきたことを踏まえ、将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進についての基本構想図を【図6】のように作成した。

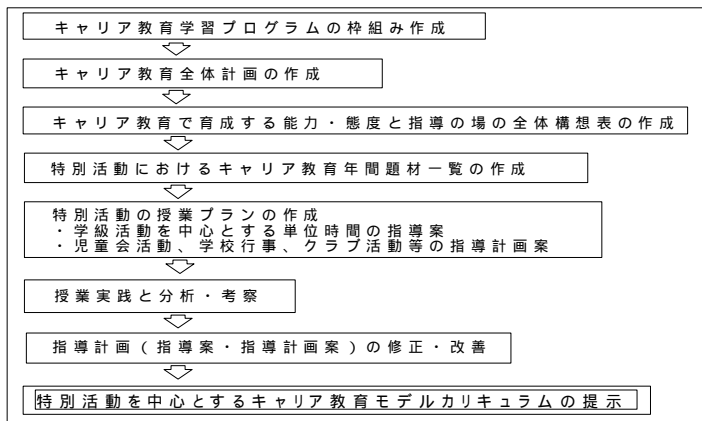


【図6】 将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進に関する基本構想図

## 2 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成に関する推進試案

### (1) 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成手順

キャリア教育のモデルカリキュラムとして、特別活動の授業の在り方を具体的かつ実践的に示した指導計画を作成するための手順を【図7】に示した。作成の際には、前頁で示した指導計画作成上の六つの視点に留意する。



### (2) 特別活動指導計画の内容と作成上の留意点

特別活動指導計画は、【図7】の作成手順に示した ~ の内容で構成する。【図7】特別活動を中心とするキャリア教育モデルカリキュラム提示までの流れ

#### ア キャリア教育学習プログラムの枠組み作成について

「キャリア教育学習プログラム」とは、児童生徒の発達段階に応じ、キャリア教育において培う能力や態度を具体的に示したものであり、指導計画を編成する際の基となるものである。その作成に当たっては、国立教育政策研究所から示された「学習プログラムの枠組み例」の形式、内容を参考にし、地域や学校、児童の実態等に応じて、キャリア教育で培う「能力・態度」を小学校（低学年・中学年・高学年）、中学校、高等学校別に作成する。小・中・高それぞれの学校段階でどのような力を育成するかを明示することで、小学校から高等学校までの12年間の一貫したキャリア教育が展開できるよう、系統性・発展性に留意する。

#### イ キャリア教育全体計画の作成について

キャリア教育の学校教育における位置付けを明示し、組織的・計画的なキャリア教育を展開するためにキャリア教育全体計画を作成する。これは、学校教育の目標実現に当たりキャリア教育が、学校教育のどの場で、どのように資するか、学校教育推進上のキャリア教育の位置付けを示したものであり、キャリア教育に対する学校の基本的な考え方を表したものである。全体計画に記載する内容は、学校教育目標、キャリア教育で育成すべき能力（全体指導目標・学団別指導目標）、教科、領域等での指導の場と指導内容、キャリア教育推進上の留意点とする。

#### ウ キャリア教育で育成する能力と指導の場の全体構想表の作成について

キャリア教育学習プログラムとキャリア教育全体計画を基に、八つの具体能力を、教育課程のどの場で育成するかを示したものを全体構想表にまとめる。キャリア教育年問題材の配当計画のための資料として活用するものである。

#### エ 特別活動におけるキャリア教育の年問題材一覧の作成

特別活動におけるキャリア教育の基盤として位置付ける学級活動は、全学年、全時間の授業内容を年問題材一覧に掲載する。学校行事等の活動では、進路発達にかかわる能力育成との関連が大きい題材を選定して、年問題材一覧を作成するものとする。また、係活動や清掃活動等、学級活動とのかかわりが大きい日常の諸活動についても題材一覧に記載する。この題材一覧には、活動内容ごと（学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事・日常活動）に題材名と活動のねらい、キャリア教育の視点からの目標（育成をめざす能力）を明示する。作成に当たっ

ては、現行の特別活動指導計画をキャリア教育の視点から見直し、指導時期や指導内容、教科や行事等との関連から検討し、活動題材を再構成したり、新設したりする。

#### オ 特別活動の授業プラン（学級活動指導案・学校行事等の指導計画案）作成上の留意点

指導計画に示す特別活動の授業プランには、学級活動を中心とする単位時間の指導案と児童会活動、学校行事、クラブ活動及び日常活動等の指導計画案を記載する。特別活動の授業に当たっては、どのような力をどのように児童に育成していくかという、指導目標（内容）及び指導方法を、指導者が明確に押さえておくことが重要である。したがって、授業プラン（指導案・指導計画案）には、キャリア教育で培うべき能力と指導の手だて（方法）を具体的に盛り込んでいくことが必要となる。なお、キャリア教育の授業においては、指導の工夫点として以下の五点に留意しながら、指導構想を立案していく。

##### 多様な学習活動を工夫する

特別活動の特質は、自主的、実践的な活動を通じて「なすことによって学ぶ」ことにある（「小学校学習指導要領解説特別活動編」）。したがって、児童が主体的に学ぶことができるよう、体験的な活動を授業に取り入れていく。キャリア教育の視点から行う特別活動の授業では、話し合い活動や係活動、ボランティア体験、家庭や地域の仕事調べ等の調査活動、中学校や諸施設との交流活動等、多様な学習活動が考えられる。授業に当たっては、これらの諸活動の特性を把握し、授業の目的実現の方途として位置付けていく。

##### 家庭や地域、関係諸機関との連携を図る

キャリア教育では、「働くこと」や「役割を果たすこと」の意義を学ぶことが、重要な学習内容である。また、学校での学びと社会との接続を図っていくことは、キャリア教育の主たるテーマでもある。児童に身近な家庭や地域、関係諸機関との連携を図った活動プランを構想することにより、諸活動に取り組む児童の意欲が高まり、仕事や働くことについて主体的に学ぶことができると考える。さらに、身近な人々とのかかわりの場を設けることにより、様々な人々の生き方に直接触れることができ、自らの生き方を考えることにもつながっていくものと考えられる。

##### 事前・事後の活動を重視する

キャリア教育の目的の実現を図るためには、学習の場を単なる活動にとどめるのではなく、事前と事後の活動を含めた、一連の流れの中で指導していくことが重要となる。事前の活動では、活動の目標や目的、方法、見通し等を児童自身が具体的にもてるような指導の工夫が大切となる。事後では、活動の目標に照らし合わせ、一連の活動を振り返らせながら、適切な評価活動を行っていくことが重要である。活動に応じた評価の方法や内容を、指導案に明示していくことが大切となる。

##### 教科、他領域との関連性を指導に生かす

キャリア教育は、学校の教育活動全体を通じて展開されるものである。キャリア教育の視点からの教科や他領域との関連性を考慮し、組織的・計画的な指導を心がけ、指導の成果を高めていくことが重要となる。キャリア教育の視点からの関連には、内容面の関連と指導方法及び指導時間等の関連が考えられる。それぞれの関連性を指導の場にどのように生かしていくか、具体的に示していくことが大切となる。

##### 中学校、高等学校との指導内容の接続や指導体制の連携を図る

指導の系統性、一貫性を図り、キャリア教育の目的を実現するために、中学校、高等学校等の接続を図った指導が必要となる。指導内容の関連を考慮すると共に、中学校の教師や卒業生を交えた授業を行うなどの指導体制上の連携も有効であると考えられる。

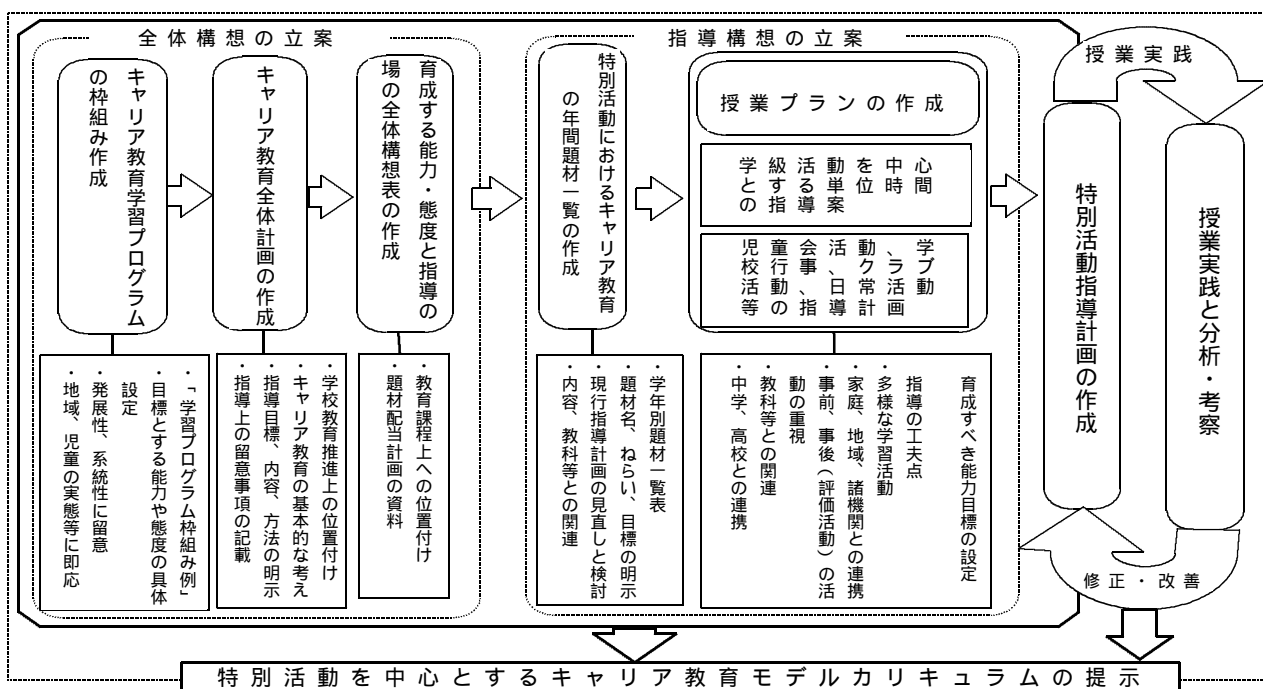
#### カ 授業実践に基づく指導計画の修正と改善について

作成した指導計画は、恒常的に修正・改善を図っていくものとする。授業実践に基づき、指導の

成果と課題、特記事項等の記録を随時行い、よりよい指導計画の作成に努めていく。

(3) 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成に関する推進試案

これまで述べてきたことを踏まえて、進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成に関する推進試案を【図8】のようにまとめた。



【図8】進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成に関する推進試案

3 キャリア教育全体構想の立案

(1) キャリア教育学習プログラムの枠組み作成

推進試案に基づき、次頁【図9】のようなキャリア教育学習プログラムの枠組み（中学校、高等学校部分は省略）を作成した。これは、児童生徒の発達段階を小学校（低学年、中学年、高学年）、中学校、高等学校の五つの段階でとらえ、それぞれの段階で育成すべき八つの進路発達にかかわる能力・態度を具体的に設定したものであり、キャリア教育の出発点となるものである。小学校から高等学校までの12年間の系統性を見通し、どの発達段階で、どのような児童生徒の育成をめざすかが容易にとらえられるよう、表形式で示してある。

(2) キャリア教育全体計画の作成

進路発達にかかわる諸能力を、学校教育の中でどのように位置付け、どのような場で育成するかを示したのが、キャリア教育全体計画である。本研究では、15頁【図10】のように研究協力校の花巻市立湯口小学校版のキャリア教育全体計画として作成した。作成に当たっては、10頁に示した特別活動指導計画作成上の視点やキャリア教育学習プログラムの枠組み（【図9】）等を基に、特に以下の六点到意した。

- 湯口小学校学校教育目標とめざす子ども像の育成に向けて、キャリア教育を位置付ける。 (【図8】ポイント)
- キャリア教育の学習指導要領上の位置付けを明記し、キャリア教育の目的と内容を押さえる。 (同ポイント)
- キャリア教育学習プログラムの枠組みを基に、キャリア教育の指導目標である四領域八能力の力を、具体化して設定する。 (同ポイント)
- 低・中・高学年ごとに、四領域の指導目標を具体化して設定する。 (同ポイント)
- 教科・領域等の各教育課程におけるキャリア教育の指導内容を列挙し、キャリア教育推進の方向性を示す。 (同ポイント)
- 実践上の配慮事項や指導上の留意事項等を、キャリア教育を推進していくための基盤として押さえる。 (同ポイント)

《キャリア教育学習プログラムの枠組み》

		小学校 進路発達 の 段階			中学校 高等学校
		低学年	中学年	高学年	
進路発達の段階		進路の探索や選択にかかわる諸能力等の基礎研成の時期			
進路発達の課題 (望ましい進路発達を図るために達成すべき発達の課題)		自分や他者への積極的な関心の形成と豊かな人間関係の構築 身の回りの仕事や働くことに対する関心と意欲の向上 将来の夢や希望、憧れ等のイメージ構築 目標に向かって主体的に努力する態度の研成			
進路発達にかかわる諸能力		進路発達を促すために育成する具体的能力・態度			
能力領域	具体能力				
【人間関係を構築する力】 自他の理解や望ましい人間関係の構築にかかわる能力領域	【コミュニケーション力】 他者の個性や考え方を認め、適切な人間関係を築こうとする力	・基本的な挨拶や返事やがし つかりできる。 ・友達と仲良く遊んだり、活動したりすることができる。	・相手の意見をよく聞き、協力し て物事に取り組むことができる。 ・自分の考えや意見をもち、表現できる。	・他者のよさに気付き、進んで人間関係を築こうとする。 ・相手の気持ちを考えながら、集団種に意欲的に取り組む。	中学校・高等学校の内容は省略（「補充資料」参考）
	【自己理解力】 自己のよさや個性を知り、自らの生き方を大切にしようとする心と態度	・自分の好きなことや得意なことを表現できる。	・自分の良さや個性について考え、自分自身についての関心をもつ。	・自分の長所に気付き、自分らしさを発揮しようとする。 ・自分自身の生き方に関心をもつ。	
【勤労や職業に対する意欲・理解】 仕事や働くことへの価値の理解や意欲にかかわる能力領域	【役割理解力】 集団生活における様々な役割を理解したり、自己の責任を果たしたりする力	・当番や係の大切さを知り、自分の責任を果たすことができる。	・学校生活を支える人々の役割を知り、自らも進んで責任を果たそうとする。	・社会生活には様々な役割があることや、その大切さを知る。 ・自己の役割を知り、進んで責任を果たそうとする。	
	【職業理解力】 働くことの喜びや価値に気付いたり、様々な職業について理解したりする力	・当番や係などの仕事をやりとげることの喜びに気付く。 ・家族の仕事や、身の回りの職業に関心をもつ。	・働くことの楽しさを知り、進んで係や当番に取り組む。 ・いろいろな職業があることと、職業ごとの興味・関心を知る。	・生活を支える職業の役割や働くことの大変さ、苦労を知る。 ・関心のある職業について、興味を広げ理解を深める。	
【生涯のイメージ形成】 将来の夢や希望、憧れ等の人生設計にかかわる能力領域	【将来設計力】 夢や希望をもって自らの生き方や生活を考え、将来の人生や職業生活における夢や憧れを主体的に構想する力	・学校や社会生活において、好きなものを見付けたり、興味や関心を広げたりすることができる。	・夢や希望を膨らませながら、自らの将来について考えることができる。	・憧れとする職業をもち、学習することや将来のことを考える大切さに気付く。	
	【情報活用能力】 情報を適切に判断したり、選択したりしながら情報をよりよく活用できる力	・要点をとらえた話の聞き方ができる。	・図書を活用したり、インタビュー活をしったりしながら、必要な情報を得ることができる。	・多様な資料収集の方法を身に付け、必要な情報を的確に得ることができる。	
【課題解決の能力・態度】 目標に向かって努力する態度の形成にかかわる能力領域	【課題解決力】 自らの目標に向かって主体的に努力したり、適切に課題解決したりする力	・基本的な学習態度身に付いた身の回りなどは自分で解決できる。 ・きまりを守り、やるべきことを着実にやり遂げることができる。	・自らの生活の向上をめざして目標を立て、その実現に向けて努力することができる。	・自らの生活の向上や将来の夢の実現を願い、目標とその実現方法を考え、主体的に努力することができる。	
	【意思決定力】 主体的に自らの意思を決定したり、進んで自己の考えを表現したりする力	・基本的な応答の仕方を身に付け、自分の意思を表現することができる。	・自分と友達の考えを比べながら聞くことができる。 ・分かりやすく自分の考えを表現することができる。	・話し合い等の場に進んでかわり、他者の意見を取り入れながら自己の意思を高めることができる。	

四つの能力領域、八つの具体能力、発達段階毎の育成すべき能力・態度(学習内容の系統性)

【図9】キャリア教育学習プログラムの枠組みと作成のポイント

(3) キャリア教育全体構想表の作成

キャリア教育学習プログラムの枠組みとキャリア育全教体計画を基に、教育課程のどの場で、どのような力を育成するかを示したものが、16頁【図11】のキャリア教育全体構想表（「小学校における進路発達を促すために育成する能力・態度と指導の場」）である。この表が、各教育課程におけるキャリア教育推進の具体的な視点を示すもので、指導計画作成の際の資料となる。



<p>キャリア教育の目的</p> <p>○児童一人一人の自己実現を図り、自らの人生を主体的に生きるための価値観や能力・態度を育成する。</p>
<p>キャリア教育の内容</p> <p>○小学校学習指導要領</p> <p>「総則」 「児童に生きる力をはぐくむことをめざし、自ら学び自ら考える力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実をめざすこと」</p> <p>「総則 第3」 「学び方やもの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること」</p> <p>「総則 第5」 「各教科等の指導に当たっては、児童が学習課題を選択したり、自らの将来について考えたりする機会を創出すること」</p> <p>「第4章 特別活動」 「児童が自ら現在及び将来の生き方を考えることができるように工夫すること」</p>

花巻市立湯口小学校キャリア教育全体計画					
<p>学校教育目標</p> <p>【学力と集中力で自ら鍛え、自ら学び、自らをつくる子どもの育成】</p> <p>◇ 心のおたたかみ子ども ◇ 進んで学ぶ子ども</p> <p>◇ 体をきたえる子ども ◇ 根拠強い子ども</p>					
<b>ポイント</b>					
<p>めざす子ども像</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>(心のおたたかみ子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを考え、思いやりのある子ども</li> <li>価値あるものに感動できる子ども</li> <li>礼儀正しい挨拶ができる子ども</li> <li>よく考え、正しく判断できる子ども</li> </ul> </td> <td> <p>(進んで学ぶ子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本を身に付け、学び方がわかる子ども</li> <li>課題を見つけ、進んで学ぶ子ども</li> <li>自分の考えをもち、表現する子ども</li> <li>態度を立てて深く考える子ども</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <p>(体をきたえる子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで運動を楽しむ子ども</li> <li>健康・安全に気をつける子ども</li> <li>自分で決め、体力づくりに取り組む子ども</li> <li>規則正しい生活ができる子ども</li> </ul> </td> <td> <p>(根拠強い子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ねばり強く仕事をやりぬく子ども</li> <li>力を合わせて活動する子ども</li> <li>くじけず、たくましく生きる子ども</li> <li>他人に尽くす喜びを感じる子ども</li> </ul> </td> </tr> </table>		<p>(心のおたたかみ子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを考え、思いやりのある子ども</li> <li>価値あるものに感動できる子ども</li> <li>礼儀正しい挨拶ができる子ども</li> <li>よく考え、正しく判断できる子ども</li> </ul>	<p>(進んで学ぶ子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本を身に付け、学び方がわかる子ども</li> <li>課題を見つけ、進んで学ぶ子ども</li> <li>自分の考えをもち、表現する子ども</li> <li>態度を立てて深く考える子ども</li> </ul>	<p>(体をきたえる子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで運動を楽しむ子ども</li> <li>健康・安全に気をつける子ども</li> <li>自分で決め、体力づくりに取り組む子ども</li> <li>規則正しい生活ができる子ども</li> </ul>	<p>(根拠強い子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ねばり強く仕事をやりぬく子ども</li> <li>力を合わせて活動する子ども</li> <li>くじけず、たくましく生きる子ども</li> <li>他人に尽くす喜びを感じる子ども</li> </ul>
<p>(心のおたたかみ子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを考え、思いやりのある子ども</li> <li>価値あるものに感動できる子ども</li> <li>礼儀正しい挨拶ができる子ども</li> <li>よく考え、正しく判断できる子ども</li> </ul>	<p>(進んで学ぶ子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本を身に付け、学び方がわかる子ども</li> <li>課題を見つけ、進んで学ぶ子ども</li> <li>自分の考えをもち、表現する子ども</li> <li>態度を立てて深く考える子ども</li> </ul>				
<p>(体をきたえる子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで運動を楽しむ子ども</li> <li>健康・安全に気をつける子ども</li> <li>自分で決め、体力づくりに取り組む子ども</li> <li>規則正しい生活ができる子ども</li> </ul>	<p>(根拠強い子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ねばり強く仕事をやりぬく子ども</li> <li>力を合わせて活動する子ども</li> <li>くじけず、たくましく生きる子ども</li> <li>他人に尽くす喜びを感じる子ども</li> </ul>				

<p>教育関係法令等</p> <p>日本国憲法 教育基本法 学校教育法 小学校学習指導要領 岩手県学校教育指導方針</p>
<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おたやかて素直である。</li> <li>明るく、誰にでも挨拶ができる。</li> <li>学的・対人的な関心があり、学習意欲が高い子どもが多い。</li> <li>粘り強さに欠ける。</li> <li>相手の立場を考えた言動に欠ける。</li> </ul>
<p>家庭・地域の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育への関心が高く教育後援運動が盛んである。</li> <li>学校に対する支援体制ができてきている。</li> <li>学校の経理事務や授業における協力も積極的である。</li> <li>自然環境、文化遺産、伝統行事等の自然環境、社会環境が豊かである。</li> </ul>

**ポイント**

キャリア教育指導目標			
将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる			
<p><b>ポイント</b></p> <p>自分や周りの人々への関心を高め、豊かな人間関係を築く力を育てる 人間関係構築・コミュニケーション能力・自己理解力</p> <p>身の回りの仕事や働くことに対する関心と意欲の向上を図る 勤労や職業に対する尊敬・理解・役割理解力・職業理解力</p> <p>将来への夢や希望を醸成し、自らの豊かな人生設計へイメージを形成させる 人生設計へのイメージ形成・将来設計力・情報活用能力</p> <p>目標に向かって主体的に努力する態度や諸課題を解決する力を育てる 課題解決の能力・態度・課題解決力・意思決定力</p>	<p>低学年指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活の仕方を身に付け、友達と仲良く活動できる。</li> <li>当番や係、身の回りの様々な仕事の大切さに気付き、自らの役割をやり遂げることができる。</li> <li>将来の夢や希望をもつことができる。</li> <li>基本的な学習の仕方を身に付け、意欲的に学習に臨むことができる。</li> </ul>	<p>中学年指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や友達の下さにつき、協力して物事に取り組むことができる。</li> <li>身の回りの職業や仕事に関心をもちとともに、自らの仕事に積極的に関わることができる。</li> <li>将来の夢や希望を膨らませることができる。</li> <li>課題に向かい、主体的に努力することができる。</li> </ul>	<p>高学年指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分らしさを生かし、自己の責任を進んで果たすことができる。</li> <li>様々な職業の様子についての理解を深め、働くことの意義や大切さに気付く。</li> <li>自らの将来の在り方考える大切さに気付き、職業に対する憧れを膨らませる。</li> <li>目標実現のための方法を考え、主体的に努力することができる。</li> </ul>
	<b>ポイント</b>		

教科・領域等におけるキャリア教育の指導内容						
各教科	道徳	特別活動			総合的な学習の時間	日常生活における諸活動
		学級活動	学校行事	児童会・クラブ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本の定着</li> <li>問題解決的な学び方の習得</li> <li>主体的なコミュニケーション活動</li> <li>生活場面からの教材化</li> <li>学習事項の生活場面や将来の生き方への適用</li> <li>生活を支える身の回りの方々の仕事や役割</li> <li>人生に対する考え方や生き方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣や善悪の判断、社会生活上のルール</li> <li>自主性、協力的な働きかけの態度</li> <li>生活を支える人々の役割の理解と感謝</li> <li>働くことの意義の理解と責任感</li> <li>目標に向かい主体的に努力する態度や希望をもって生きる心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の形成</li> <li>希望や目標をもって生きる態度の形成</li> <li>望ましい人間関係の育成</li> <li>生活上の諸問題の実践的解決</li> <li>生活を支える役割の理解と責任の遂行</li> <li>主体的なコミュニケーション活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標の実現に向けた努力の蓄積と充実感</li> <li>集団活動を支える役割理解</li> <li>勤労や生産活動の尊さ、喜びの感得</li> <li>集団行動における望ましい態度形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団活動を支える組織や役割の理解</li> <li>役割や責任を果たす意義と充実感</li> <li>異年齢間交流</li> <li>自己の興味・関心の追究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力</li> <li>主体的、創造的な探求活動</li> <li>自己のよりよい生き方を考える場</li> <li>自然体験、社会体験、観察・実験、見学等の体験的学習、問題解決的学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日直、清掃活動、給食時の当番活動等における役割の理解と責任の遂行</li> <li>休み時間における集団遊び等での人間関係構築</li> <li>校外活動、課外活動</li> </ul>

**ポイント**

キャリア教育推進のための基盤					
<p>学級・学年経営の充実</p>	<p>基本的な生活習慣の確立</p>	<p>キャリア教育についての教職員員の共通理解</p>	<p>PTA及び地域の諸施設、諸機関との連携</p>	<p>地域の諸行事、人材、環境等を生かした題材開発</p>	<p>湯口中学校との協力、連携</p>

**ポイント**

【図10】キャリア教育全体計画と計画作成のポイント

《小学校における進路発達を促すために育成する能力・態度と指導の場》

段階	低学年	中学年	高学年
進路発達課題	<p>進路の探索や選択にかかわる諸能力等の基礎形成の時期</p> <p>自分や他者への積極的な関心の形成と豊かな人間関係の構築 将来の夢や希望、憧れ等のイメージ設計</p> <p>身の回りの仕事や働くことに対する関心と意欲の向上 目標に向かって主体的に努力する態度形成</p> <p>進路発達を促すために育成する能力・態度と主な指導の場</p>		
人間関係を構築する力	<p>コミュニケーション力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な挨拶や返事や返事がしっかりできる。</li> <li>友達と仲良く遊んだり、活動したりすることができる。</li> </ul> <p>教科等（生活科、授業全般での学習指導） 道徳（礼儀、友情、助け合い） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常生活（朝の会、帰りの会、休み時間等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の意見をよく聞き、協力して物事に取り組むことができる。</li> <li>自分の考えや意見をもち、表現できる。</li> </ul> <p>教科等（国語、教科全般での学習指導） 特別活動（学級活動） 日常生活（朝の会、帰りの会等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者のよさに気付き、進んで人間関係を築こうとする。</li> <li>相手の気持ちを考えながら、集団裡に意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>道徳（友情・信頼、尊敬・感謝） 特別活動（学級活動、児童会活動、学校行事） 日常生活（係活動等）</p>
	<p>自己理解力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きなことや得意なことを表現できる。</li> </ul> <p>教科（生活科、図工、国語） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常生活（朝の会等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の良さや個性について考え、自分自身についての関心をもつ。</li> </ul> <p>特別活動（学級活動）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の長所に気付き、自分らしさを発揮しようとする。</li> <li>自分自身の生き方に関心をもつ。</li> </ul> <p>総合的な学習の時間 道徳（向上心、個性伸長） 特別活動（学級活動）</p>
勤労や職業に対する意欲・理解	<p>役割認識力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当番や係の大切さを知り、自分の責任を果たすことができる。</li> </ul> <p>道徳（勤勉、誠実、尊敬・感謝） 特別活動（学級活動） 日常生活（清掃、給食、係活動）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を支える人々の役割を知り、自らも進んで責任を果たそうとする。</li> </ul> <p>教科（社会科） 総合的な学習の時間 道徳（尊敬、勤労、誠実、勤勉） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常生活（清掃、給食、係活動等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活には様々な役割があることや、その大切さを知る。</li> <li>自己の役割を知り、進んで責任を果たそうとする。</li> </ul> <p>教科（社会） 道徳（勤勉、誠実、勤労） 特別活動（学級活動、児童会活動、学校行事） 日常生活（係活動等）</p>
	<p>職業理解力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当番や係などの仕事をやりとげることに喜びに気付く。</li> <li>家族の仕事や、身の回りの職業に関心をもつ。</li> </ul> <p>教科（生活科） 道徳（家族愛、勤勉、誠実） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常生活（清掃、給食、係活動）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働くことの楽しさを知り、進んで係や当番に取り組む。</li> <li>いろいろな職業を知り、職業についての興味・関心を高める。</li> </ul> <p>教科（社会） 道徳（勤勉、誠実、勤勉） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常生活（清掃、給食、係活動等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を支える職業の役割や働くことの大切さ、苦労を知る。</li> <li>関心のある職業について、興味を広げ理解を深める。</li> </ul> <p>教科（社会） 道徳（尊敬） 特別活動（学級活動、学校行事） 総合的な学習の時間</p>
人生設計へのイメージ形成	<p>将来設計力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や社会生活において、好きなものを見つけたり、興味や関心を広げたりすることができる。</li> </ul> <p>教科（生活科） 特別活動（学級活動）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢や希望を膨らませながら、自らの将来について考えることができる。</li> </ul> <p>教科（図工） 特別活動（学級活動）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>憧れとする職業をもち、学習することや将来のことを考える大切さに気付く。</li> </ul> <p>教科（国語） 道徳（向上心、個性伸長） 特別活動（学級活動、学校行事）</p>
	<p>情報活用能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>要点をとらえた話の聞き方ができる。</li> </ul> <p>教科（国語、授業全般での学習指導） 特別活動（学級活動） 日常生活（朝の会、帰りの会等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書を活用したり、インタビュー活動をしたりしながら、必要な情報を得ることができる。</li> </ul> <p>教科（理科、社会、国語） 総合的な学習の時間 特別活動（学級活動）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な資料収集の方法を身に付け、必要な情報を的確に得ることができる。</li> </ul> <p>教科（社会、理科、国語） 総合的な学習の時間 特別活動（学級活動）</p>
課題解決の能力・態度	<p>課題解決力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣身に付け、身の回りのことは自分で解決できる。</li> <li>きまりを守り、やるべきことを着実にやり遂げることができる。</li> </ul> <p>教科（生活科） 道徳（自立、勤勉、誠実、規則の尊重） 特別活動（学級活動） 日常生活（清掃、給食、係活動）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの生活の向上をめざして目標を立て、その実現に向けて努力することができる。</li> </ul> <p>道徳（勤勉・努力、誠実） 特別活動（学級活動、学校行事）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの生活の向上や将来の夢の実現を願い、目標とその実現方法を考え、主体的に努力することができる。</li> </ul> <p>道徳（向上心、個性伸長） 特別活動（学級活動、学校行事）</p>
	<p>意思決定力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な応答の仕方をも身に付け、自分の意思を表現することができる。</li> </ul> <p>教科等（授業全般での学習指導） 道徳（礼儀） 特別活動（学級活動） 日常生活（朝の会、帰りの会等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と比べながら、友達のことを聞くことができる。</li> <li>分かりやすく自分の考えを表現することができる。</li> </ul> <p>教科等（国語、授業全般での学習指導） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常生活（朝の会、帰りの会）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い等の場に進んでかわり、他者の意見を取り入れながら自己の意思を高めることができる。</li> </ul> <p>教科等（授業全般での学習指導） 特別活動（学級活動）</p>

小学校で達成をめざす四つの進路発達課題を明示

育成すべき能力・態度（めざす児童の姿）

中心的な指導の場となる教育課程上の位置付け

進路発達にかかわる能力領域と具体能力

【図11】キャリア教育全体構想表と作成のポイント

4 キャリア教育指導構想の立案

(1) 特別活動におけるキャリア教育の年問題材一覧（試案）

これまでの特別活動の指導計画をキャリア教育の視点から見直し、次頁【表2】、18頁【表3】（一部略）のように特別活動におけるキャリア教育の年問題材一覧（試案）を作成した。この一

覧は、「学級活動におけるキャリア教育の年問題材一覧」と「学校行事等におけるキャリア教育の年問題材一覧」の二つによって構成した。

作成に当たっては、キャリア教育学習プログラムの枠組みやキャリア教育全体計画を基に、進路発達にかかわる諸能力の育成が組織的・系統的に図られるよう配慮し、各活動によって育成される能力を明らかにした。また、進路発達にかかわる八つの具体能力に鑑み、従来の学級活動や行事では育成が不十分なものについては、これまでの活動を吟味・検討した上で、新たな題材を配当した。

ア 学級活動におけるキャリア教育の年問題材一覧について

学級活動の内容は、「(1)学級や学校の生活と充実と向上に関すること」と「(2)日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること」(小学校学習指導要領)がある。よって、学級活動年問題材一覧も、この分類によって整理し、題材配当を考えた。なお、「(1)学級や学校の生活と充実と向上に関すること」は、児童の学級(学校)生活の実態に対応したり、自主的活動を促したりすることに配慮し、一覧に示す題材は弾力性、融通性のあるものととらえた。したがって、この計画は児童や学級の実態によって、指導する時期や題材、内容等の変更がありうる。「(2)日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること」については、学級担任が意図的、計画的に着実に指導する内容である。

【表2】学級活動年間活動題材一覧(第6学年)の例

				(花巻市立湯口小学校)									
月	題材名	指導要領の内容	指導のねらい	進路発達にかかわる能力									
				コミュニケーション力	自己管理能力	役割認識力	職業理解力	将来設計力	情報活用能力	課題解決力	意思決定力	行事等との関連	
4月	最高学年の役割	(2)	最高学年としての役割を知り、その責任を果たそうとする意欲とリーダーとしての自覚をもつ。										入学式
	学級目標を決めよう	(1)	一人一人が理想とする学級像を話し合い、その実現に向け、学級目標を決めることができる。										始業式
	学級組織を決めよう	(1)	学級生活の向上のために必要な組織と自分の役割を決め、活動意欲をもつ。										
	安全な登下校を考えよう	(2)	安全な登下校の仕方を知るとともに、自らの安全を主体的に守ろうとする意識をもつ。										
5月	修学旅行を成功させよう	(1)	修学旅行の目的を明らかにし、目的実現のための目標や約束を決めることができる。										修学旅行
	修学旅行を振り返ろう	(1)	目標や約束の達成状況を振り返り、旅行の成果と課題を今後の生活に生かそうとする。										児童総会
	そうじ名人になろう	(2)	そうじの仕方を振り返り、よりよいそうじの仕方を知るとともに、働くことへの一層の意欲をもつ。										
	運動会を成功させよう	(1)	運動会の成功に向けての意欲をもち、学級や個人の目標を立てることができる。										
6月	運動会を振り返ろう	(1)	目標の達成状況を振り返り、運動会の成果と課題を今後の生活に生かそうとする。										運動会
	歯の健康について考えよう	(2)	日常の歯磨きの様子を振り返り、正しい歯磨きの仕方を知り、実践に生かそうとする。										古代むら
	みんなのよさ・自分のよさ	(2)	友達や自分のよさを考えることをとおし、互いを大事にする気持ちをもち、温かな人間関係を築く。										プール開き
7月	学級集会の計画を立てよう	(1)	学級集会の意義を明らかにしながら、集会の目標や内容、役割等について話し合うことができる。										終業式
	学級集会をしよう	(1)	集会の目標に基づき、役割や約束を着実に果たしながら、学級の結び付きを強めることができる。										夏休み
	夏休みの計画を立てよう	(2)	夏休みを有意義に過ごそうとする意欲をもち、具体的な目標や計画を立てることができる。										
8月	2学期の目標を決めよう	(2)	1学期や夏休みの生活の反省を基に、具体的な目標を立て、2学期の学校生活への意欲をもつ。										始業式
	学級組織を決めよう	(1)	学級生活の向上のために必要な組織と自分の役割を決め、活動意欲をもつ。										
9月	たばこ健康	(2)	喫煙が健康に及ぼす影響を調べ、自らの健康を保持するためのくらし方を考えることができる。										祖父母参観
	働く姿から学ぼう	(2)	様々な職業や働く人々の様子を調べ、働くことの意義を考えたり、仕事への興味を広げたりする。										陸上記録会
	学習発表会を成功させよう	(1)	小学校最後の学習発表会の成功に向けて意欲をもち、学級や個人の目標を立てることができる。										
10月	学習発表会を振り返ろう	(1)	目標の達成状況を振り返り、学習発表会の成果を生かし、今後の生活のめあてをもつ。										学習発表会
	係活動を見直そう	(1)	これまでの活動を振り返り、学級生活の一層の充実につながる係活動を工夫することができる。										音楽発表会
	目の健康を考えよう	(2)	姿勢や明るさが目に及ぼす影響を調べ、目の健康を守るためのくらし方を理解することができる。										校内マラソン
～以降の内容は省略(「補充資料」参考)～													

イ 学校行事等におけるキャリア教育の年問題材一覧について

学級活動以外の特別活動の内容（学校行事・児童会活動・クラブ活動）と日常活動におけるキャリア教育の視点を示し、年間の題材一覧として作成したものが、「学校行事等におけるキャリア教育の年問題材一覧」である。題材には、学校で行われる学校行事・児童会活動・クラブ活動、日常活動等の中で、進路発達にかかわる能力の育成に特に関連が深いものについて選定した。

【表3】キャリア教育の視点を位置付けた学校行事等の題材一覧

（花巻市立湯口小学校）

活動・行事・題材	学年	月	活動の主なねらい	進路発達にかかわる能力											
				自己理解力	役割認識力	職業生活力	情報活用能力	課題解決力	意思決定力	職業生活力	情報活用能力				
学 校 行 事	1学期始業式	全学年	4	進級の喜びを感じ、新学年での学校生活における期待と目標をもつ。											
	入学式	1・高	4	新入生の入学を互いに喜び合い、新しい学校生活における夢や希望をもつ。											
	交通安全教室	全学年	4	正しい交通安全の仕方を知り、自らの身を守る安全意識を高める。											
	修学旅行	6	5	社会のルールを学ぶとともに、見聞を広げたり、課題を追究したりする力を高める。											
	運動会練習	全学年	5~6	運動会の目標を立て、その実現に向かって努力できる。											
	運動会	全学年	6	集団行動の仕方を学び、目標に向かって努力したり、責任を果たしたりする態度を身に付ける。											
	プール清掃	4~6	6	進んで働こうとする意欲をもち、自分の仕事を着実にやり遂げることができる。											
	古代むら体験学習	4	6	集団行動のルールを知るとともに、自己の責任を果たすことの大切さや集団活動の楽しさに気付く。											
	林間学校	5	6	自然との触れ合いや集団活動をおし、自他のよさに気付いたり、自己の興味を広げたりする。											
	1学期終業式	全学年	7	1学期の学校生活での成長と課題を振り返り、夏休みに向けての目標をもつ。											
	陸上記録会	5・6	9	学校の代表としての誇りをもち、目標をもって、応援や競技に力を発揮できる。											
	学習発表会	全学年	10	自分のめあてをもって活動に取り組み、創造力や表現力を高める。											
	2学期終業式	全学年	12	1学期の学校生活での成長と課題を振り返り、夏休みに向けての目標をもつ。											
	3学期始業式	全学年	1	これまでの学校生活の反省を生かしながら、新学期に臨む意欲と目標をもつ。											
	スキー遠足	全学年	2	スキーをおし、集団で活動することの楽しさや、集団行動のルールを知る。											
	体育館ワックス塗り	6	3	校舎への感謝の気持ちをもち、進んで仕事に取り組み、勤労の喜びを知る。											
	修了式練習	1~5	3	修了式の意義を知り、一年間のまとめとしての態度を考え、練習に参加できる。											
	修了式	1~5	3	一年間の自らの努力と成長に自信をもち、次年度への期待と目標をもつ。											
	卒業式練習	4~6	3	それぞれの学年における卒業式の意義を知り、目標をもって練習に取り組みすることができる。											
	卒業式	4~6	3	6年生の卒業を互いに喜び合い、それぞれの新しい生活に臨む期待と目標をもつことができる。											
児 童 会 活 動	1年生を迎える会	全学年	4	新入生の入学を全校で喜び、その気持ちをそれぞれの立場で意欲的に表現する。											
	児童総会	3~6	5	学校生活のよりよい充実のために、仕事や役割を考え、進んで話し合う。											
	ゲーム集会	全学年	9	約束を守ったり、役割を果たしたりしながら、集団ゲームを楽しみ、友達を増やす。											
	長縄跳び大会	全学年	2	大会の目標を立て、その実現のために互いに協力しながら努力できる。											
	6年生を送る会	全学年	2	互いに感謝の気持ちを感じ合い、それぞれの学年で協力し合いながらその気持ちを表現できる。											
委員会活動	5・6	通年	所属する委員会や自分の仕事の役割を考え、主体的に活動に取り組みすることができる。												
ク ラ ブ	クラブ活動	4~6	4~12	自己の興味や関心を広げたり、友達との交流を深めたりすることができる。											
	クラブ活動見学	3	12	自己の興味や関心のあることについて考え、所属クラブを決定できる。											
日 常 活 動	日直当番	全学年	通年	大きな声で挨拶したり、仕事を着実にやり遂げたりしながら、責任感をもって役割を果たす。											
	係活動		通年	学級生活における仕事の役割を考え、主体的・創造的に活動できる。											
	全校朝会		通年	清新な学習意欲を高めたり、規律ある集団行動や表現力を身に付けたりする。											
	児童朝会		通年	自己の役割を自覚して集会に臨み、主体的な表現活動ができる。											
	縦割り班清掃		6~7 11~12	通年	班内での自分の役割を理解し、協力し合いながら、意欲的に清掃に取り組み。										
	縦割り班自由遊び		通年	班内での自分の立場を理解し、協力し合いながら、楽しく遊ぶことができる。											
	清掃活動（通常）		通年	清掃活動の意義を知り、進んで仕事に取り組み、働くことの喜びに気付く。											
	給食活動		通年	当番の仕事を着実に果たしたり、食事をおとして友達との交流を深めたりする。											

## 研究のまとめ

### 1 研究の成果

本研究は、進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動の実践的な指導計画を作成し、特別活動を中心として展開する小学校キャリア教育のモデルカリキュラムの提示をめざしたものである。本年度は、キャリア教育の意義や位置付けを分析・検討した上で、特別活動におけるキャリア教育の全体構想の立案に取り組んできた。

本年度の研究内容の成果について、以下のように総括的にまとめる。

#### (1) 将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる小学校キャリア教育の推進に関する基本構想の立案

主題にかかわる先行研究や文献等から、キャリア教育の意義や学校教育における位置付け、めざすべき児童生徒像、育成すべき諸能力等を明らかにすることができた。このことによって、小学校キャリア教育においてめざす児童像と培うべき力を具体化することができ、その実現のための基本構想を立案することができた。

#### (2) 進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の作成に関する推進試案の作成

文献、先行研究等から、キャリア教育において培うべき進路発達にかかわる八つの能力を具体的に設定することができた。そして、これらの能力を培うための特別活動指導計画の位置付けや内容及びその作成のための手順や留意点を明示した、特別活動指導計画の作成に関する推進試案を作成することができた。

#### (3) キャリア教育全体構想の立案

先行研究や文献、研究協力校での教育計画（学校経営概要）等の資料を基に、育成すべき能力を児童の発達段階毎に示したキャリア教育学習プログラムの枠組みとキャリア教育全体計画及び全体構想表を作成し、キャリア教育の全体構想を立案することができた。そして、これらの資料を基に、キャリア教育の視点を位置付けた学級活動や学校行事等の題材一覧を試案として作成することができた。

### 2 研究の課題

今後、作成したキャリア教育全体構想を吟味しながら、各学年におけるキャリア教育の視点を位置付けた特別活動題材一覧及び単位時間の具体的な授業プラン（指導計画案）を作成する。そして、それに基づいた指導実践とその分析・考察を行い、作成した指導計画案の修正と改善を行いながら、特別活動を中心としたキャリア教育モデルカリキュラムを提示し、研究のまとめとする。

## おわりに

この研究を進めるに当たって、ご協力いただいた研究協力校の先生方に心から感謝を申し上げます。

### 【引用文献・引用 Web ページ】

渡辺三枝子(2003),『教職研修』10月号,教育開発研究所,p.34

及川芙美子(1997),『学級を「場」とする進路の指導 「生きる力」を育てる』,明治図書,p.31

三村隆男(2005),『小学生から養う勤労観』,『教育ルネサンス』

<http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/renai/20051202us41.htm>

### 【参考文献】

井上裕吉編著(1997),『学級を「場」とする進路の指導 「生きる力」を育てる』,明治図書

三村隆男編著(2004),『はじめる小学校キャリア教育』,実業之日本社

沼津市立原東小学校・三村隆男(2005),『キャリア教育が小学校を変える』,実業之日本社

三村隆男(2004),『キャリア教育入門 その理論と実践のために』,実業之日本社

仙崎武・池場望・宮崎冴子(1999),『21世紀のキャリア開発』,文化書房博文社

福地守作(1995),『キャリア教育の理論と実践』,玉川大学出版部

京都教育大学附属京都小学校・京都中学校(2005),『特色ある学校作り「新学校構想」』

悠木そのま(2004),『みんなのキャリアデザイン なりたい自分になるために』,文芸社

大久保幸夫(2004),『仕事のための12の基礎力』,日経BP社

宮川八岐・有村久春編(1999),『小学校学習指導要領Q&A～解説と展開～』,教育出版

神奈川県立総合教育センター(2005),『キャリア教育推進ハンドブック』,神奈川県立総合教育センター

仙崎武・野々村新・渡辺三枝子(1991),『進路指導論』,福村出版

こどもくらぶ編(2005),『だれにもわかるキャリア教育のテーマ50』,学事出版

内藤勇次編著(1997),『夢と希望を育てる生き方の教育』,学事出版

斎藤孝(2001),『「できる人」はどこがちがうのか』,ちくま新書

# 補 充 資 料

- 資料 1 キャリア教育学習プログラムの枠組み
- 資料 2 花巻市立湯口小学校キャリア教育全体計画
- 資料 3 小学校における進路発達を促すために育成する能力・態度と指導の場
- 資料 4 学級活動年問題材一覧（第 6 学年）
- 資料 5 キャリア教育の視点を位置付けた学校行事等の題材一覧

資料 1 ～ 5 は、推進試案に基づき、進路発達にかかわる諸能力の育成を軸とした特別活動指導計画の資料として作成したものである。

【資料1】キャリア教育学習プログラムの枠組み

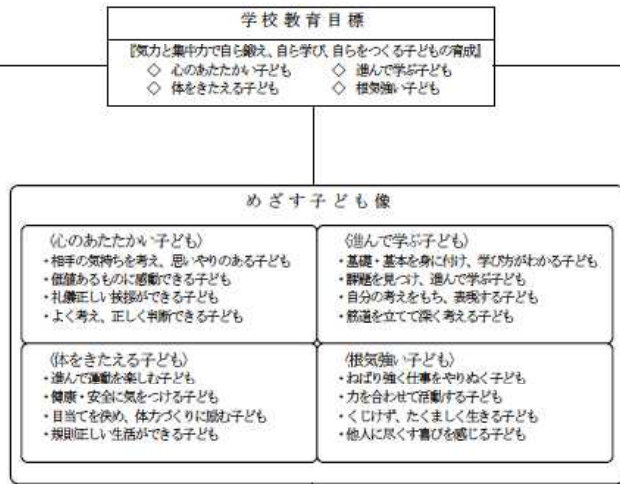
		小 学 校			中 学 校	高 等 学 校
		低学年	中学年	高学年		
進路発達段階		進路の探索や選択にかかわる諸能力等の基盤形成の時期			生き方や進路の現実的な探索と暫定的な選択の時期	進路の現実的な探索と将来設計の社会的移行に向けた準備の時期
進路発達課題 (望ましい進路発達を図るために達成すべき発達課題)		自分や他者への積極的な関心の形成と豊かな人間関係の構築 身の回りの仕事や働くことに対する関心と意欲の向上 将来の夢や希望、憧れ等のイメージ設計 目標に向かって主体的に努力する態度形成			肯定的な自己理解と自己有用感の獲得 興味や関心等に基づく勤労観・職業観の形成 進路計画の立案と暫定的な選択 生き方や進路に関する現実的な探索	自己理解の深化と自己受容 選択基準としての勤労観・職業観の確立 将来設計の立案と社会的移行の準備 進路の現実吟味と試行的参加
進路発達にかかわる諸能力		進路発達を促すために育成する具体的能力・態度				
能力領域	具体能力					
【人間関係を構築する力】 自他の理解や望ましい人間関係の構築にかかわる能力領域	【コミュニケーション力】 他者の個性や考え方を認め、適切な人間関係を築こうとする力 ----- 【自己理解力】 自己のよさや個性を知り、自らの生き方を大切にしようとする心と態度	・基本的な挨拶や返事やがし っかりできる。 ・友達と仲良く遊んだり、活 動したりすることができる。 ----- ・自分の好きなことや得意な ことを表現できる。	・相手の意見をよく聞き、協力し て物事に取り組むことができる。 ・自分の考えや意見をもち、表 現できる。 ----- ・自分の良さや個性について考 え、自分自身についての関心 をもつ。	・他者のよさに気付き、進ん で人間関係を築こうとする。 ・相手の気持ちを考えながら、 集団活動に意欲的に取り組む。 ----- ・自分の長所に気付き、自分 らしさを発揮しようとする。 ・自分自身の生き方に関心を もつ。	・人間関係の大切さを理解し、コミュニ ケーションスキルの基礎を習得する。 ・リーダー、フォロアーの立場を理解し、 目的の実現に向けて協力して活動できる。 ----- ・自己の良さや個性について、理解を深め る。 ・自分を大事にしようとする心をもつ。	・他者の価値観や個性を認め、場に応じた コミュニケーションを図ることができる。 ・リーダー、フォロアーシップを発揮し、 自他の能力とチームワークを高める。 ----- ・自己の職業的な能力・適性を理解し、そ れらを人生設計や職業生活に生かそうと する。 ・自らの人格や人生を大切にしようとする。
【勤労や職業に対する 意欲・理解】 仕事や働くことへの 価値の理解や意欲に かかわる能力領域	【役割認識力】 集団生活における様々な役 割を理解したり、自己の責 任を果たしたりする力 ----- 【職業理解力】 働くことの喜びや価値に気 付いたり、様々な職業につ いて理解したりする力	・当番や係の大切さを知り、 自分の責任を果たすことが できる。 ----- ・当番や係などの仕事をやり とげることの喜びに気付く。 ・家族の仕事や、身の回りの 職業に関心をもつ。	・学校生活を支える人々の役割 を知り、自らも進んで責任を 果たそうとする。 ----- ・働くことの楽しさを知り、進 んで係や当番に取り組む。 ・いろいろな職業があることを知り、 職業についての興味・関心を高める。	・社会生活には様々な役割があ ることや、その大切さを知る。 ・自己の役割を知り、進んで 責任を果たそうとする。 ----- ・生活を支える職業の役割や働 くことの大切さ、苦勞を知る。 ・関心のある職業について、 興味を広げ理解を深める。	・よりよい集団活動のための役割分担や、 その方法等がわかる。 ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、 自己の生き方を考えることができる。 ----- ・勤勞の意義や働く人々の様々な思いを知る。 ・職業についての特色や必要な資質等の理 解を深め、自らの生き方や進路選択につ いて考えることができる。	・場に応じて自己の果たすべき役割を自覚 し、積極的に役割を果たすことができる。 ・ライフステージに応じた個人的・社会的 役割や責任を理解する。 ----- ・多様な職業観・勤勞観を理解し、勤勞や 職業に対する理解と認識を深める。 ・職業生活における権利や義務、就業方法 等についての理解を深める。
【人生設計のイメージ形成】 将来の夢や希望、憧 れ等の人生設計にか かわる能力領域	【将来設計力】 夢や希望をもって将来の生き方や生活 を考え、将来の人生や職業生活におけ る夢や憧れを主体的に描こうとする力 ----- 【情報活用力】 情報を適切に判断したり、 選択したりしながら情報 をよりよく活用できる力	・学校や社会生活において、好 きなものを見つけたたり、興 味や関心を広げたりするこ とができる。 ----- ・要点をとらえた話の聞き方 ができる。	・夢や希望を膨らませながら、 自らの将来について考えるこ とができる。 ----- ・図書を活用したり、インタビ ュー活動をしたりしながら、 必要な情報を得ることがで きる。	・憧れとする職業をもち、学 習することや将来のことを 考える大切さに気付く。 ----- ・多様な資料収集の方法を身 に付け、必要な情報を的確 に得ることができる。	・将来の夢や職業を思い描き、職業や仕事 への関心・意欲を高める。 ・将来の進路希望に基づき、当面の目標を 立て、その達成に向けて努力する。 ----- ・生き方や進路に関する情報を、様々なメ ディアを通して、調査・収集・整理し活 用することができる。	・自己を生かせる生き方や進路について、 現実的に考えることができる。 ・職業についての総合的・現実的な理解に基づ き、進路計画を立てその実現に努力する。 ----- ・卒業後の進路や職業・産業の動向につい て、多面的・多角的に情報を集め検討す ることができる。
【課題解決の能力・態度】 目標に向かって努力 する態度の形成にか かわる能力領域	【課題解決力】 自らの目標に向かい主体的 に努力したり、適切に 課題解決したりする力 ----- 【意思決定力】 主体的に自らの意思を決 定したり、進んで自己の 考えを表現したりする力	・基本的な生活習慣を身に付け、身 の回りのことは自分で解決できる。 ・きまりを守り、やるべきことを 着実にやり遂げることができる。 ----- ・基本的な応答の仕方を身に 付け、自分の意思を表現す ることができる。	・自らの生活の向上をめざして 目標を立て、その実現に向け て努力することができる。 ----- ・自分と友達の考えを比べなが ら聞くことができる。 ・分かりやすく自分の考えを表 現することができる。	・自らの生活の向上や将来の 夢の実現を願い、目標とそ の実現方法を考え、主体的 に努力することができる。 ----- ・話し合い等の場に進んでかか わり、他者の意見を取り入 れながら自己の意思を高め ることができる。	・自ら課題を見出すことの大切さを理解し、よ りよい生活や生き方をめざすことができる。 ・課題に積極的に取り組み、主体的に解決 しようとする。 ----- ・多様な意見や考えを認め、比較したり検 討したりしながら、自己の意思を高め、 表現できる。	・将来設計、進路希望の実現をめざして課題 を設定し、その解決に主体的に取り組む。 ・自己を生かす役割を果たすための課題と 解決策を考え、実行できる。 ----- ・多様な意見や考えを客観的に判断し、自 己の意思を構築できる。 ・場に応じながら、自己の思いや意見を適 切に表現することができる。



【資料 2】

花巻市立湯口小学校キャリア教育全体計画

キャリア教育の目的	
○児童一人一人の自己実現を図り、自らの人生を主体的に生きるための価値観や能力・態度を育成する。	
キャリア教育の内容	
○生涯にわたるキャリア教育の推進 ○生涯にわたるキャリア教育の推進 ○生涯にわたるキャリア教育の推進	小学校学習指導要領
	<p>【総論】 「児童に生きる力をはぐくむことをめざし、自ら学び自ら考える力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実と努めを怠らねばならない」 【総論 第3】 「学び方やもの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること」 【総論 第5】 「各教科等の指導に当たっては、児童が学習課題を選択したり、自らの将来について考えたりする機会を創出するなど工夫すること」 【第4章 特別活動】 「児童が自ら現在及び将来の生き方を考えることができるように工夫すること」</p>



教育関係法令等
日本国憲法 教育基本法 学校教育法 小学校学習指導要領 岩手県学校教育推進指針
児童の実態
<ul style="list-style-type: none"> <li>おだやかで素直である。</li> <li>明るく、誰にでも挨拶ができる。</li> <li>知的好奇心が豊かであり、学習意欲が高い子どもが多い。</li> </ul>
家庭・地域の実態
<ul style="list-style-type: none"> <li>教育への関心が高く教育振興運動が盛んである。</li> <li>学校に対する支援体制が確立されている。</li> <li>学校の諸行事や授業における協力が積極的である。</li> <li>自然環境、文化遺産、伝統行事等の自然環境、社会環境が豊かである。</li> </ul>

キャリア教育指導目標			
将来を見つめ自らの生き方を考える力を育てる			
自分や周りの人々への関心を高め、豊かな人間関係を築く力を育てる 人間関係構築：コミュニケーション能力・自己理解力	身の回りの仕事や働くことに対する関心と意欲の向上を図る 勤労観・職業観の育成：役割認識力・職業理解力	将来への夢や希望を醸成し、自らの豊かな人生設計へイメージを形成させる 人生設計へのイメージ形成・将来設計力・情報活用能力	目標に向かって主体的に努力する態度や諸課題を解決する力を育てる 課題解決の能力・態度：課題解決力・意思決定力
低学年指導目標	中学年指導目標	高学年指導目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活の仕方を身に付け、友達と仲良く活動できる。</li> <li>○当番や係、身の回りの様々な仕事の大切さに気づき、自らの役割をやり遂げることができる。</li> <li>○将来の夢や希望をもつことができる。</li> <li>○基本的な学習の仕方を身に付け、意欲的に学習に臨むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分や友達のように気づき、協力して物事に取り組むことができる。</li> <li>○身の回りには様々な仕事があることに気づくとともに、自らの仕事に積極的にかかわることができる。</li> <li>○将来の夢や希望を膨らませることができる。</li> <li>○課題に向かい、主体的に努力することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分らしさを生かし、自己の責任を進んで果たすことができる。</li> <li>○様々な職業の様子についての理解を深め、働くことの意義や大切さに気づく。</li> <li>○自らの将来の在り方考える大切さに気づき、職業に対する憧れを膨らませる。</li> <li>○目標実現のための方法を考え、主体的に努力することができる。</li> </ul>	

教科・領域等におけるキャリア教育の指導内容						
各教科	道徳	特別活動			総合的な学習の時間	日常生活における諸活動
		学級活動	学校行事	児童会・クラブ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の定着</li> <li>○問題解決的な学び方の習得</li> <li>○主体的なコミュニケーション活動</li> <li>○生活場面からの教材化</li> <li>○学習事項の生活場面や将来の生き方への適用</li> <li>○生活を支える身の回りの人々の仕事や役割</li> <li>○人生に対する考え方や生き方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣や善悪の判断、社会生活上のルール</li> <li>○自主性、協力し合い助け合う態度</li> <li>○生活を支える人々の役割の理解と感謝</li> <li>○働くことの意義の理解と責任感</li> <li>○目標に向かい主体的に努力する態度や希望をもつて生きる心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣の形成</li> <li>○希望や目標をもつて生きる態度の形成</li> <li>○望ましい人間関係の育成</li> <li>○生活上の諸問題の実践的解決</li> <li>○生活を支える役割の理解と責任の遂行</li> <li>○主体的なコミュニケーション活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標の実現に向けた努力の蓄積と充実感</li> <li>○集団活動を支える役割理解</li> <li>○勤労や生産活動の尊さ、喜びの感得</li> <li>○集団行動における望ましい態度形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団活動を支える組織や役割の理解</li> <li>○役割や責任を果たす意義と充実感</li> <li>○異年齢間の交流</li> <li>○自己の興味・関心の追究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力</li> <li>○主体的・創造的な探究活動</li> <li>○自己のよりよい生き方を考える場</li> <li>○自然体験、社会体験、観察・実験、見学等の体験的学習、問題解決的学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日直、清掃活動、給食時の当番活動等における役割の理解と責任の遂行</li> <li>○休み時間における集団遊び等での人間関係構築</li> <li>○読書活動、朗読活動</li> </ul>

キャリア教育推進のための基盤					
学級・学年経営の充実	基本的な生活習慣の確立	キャリア教育についての教職員共通理解	PTA及び地域の諸施設、諸機関との連携	地域の諸行事、人材、環境等を生かした題材開発	湯口中学校との協力、連携

【資料3】《小学校における進路発達を促すために育成する能力・態度と指導の場》

	低学年	中学年	高学年
段階	進路の探索や選択にかかわる諸能力等の基盤形成の時期		
進路発達課題	自分や他者への積極的な関心の形成と豊かな人間関係の構築 身の回りの仕事や働くことに対する関心と意欲の向上	将来の夢や希望、憧れ等のイメージ設計 目標に向かって主体的に努力する態度形成	
進路発達を促すために育成する能力・態度と主な指導の場			
人間関係を構築する力	<p>・基本的な挨拶や返事や返事がしっかりできる。</p> <p>・友達と仲良く遊んだり、活動したりすることができる。</p> <p>教科等（生活科、授業全般での学習指導） 道徳（礼儀、友情、助け合い） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常活動（朝の会、帰りの会、休み時間等）</p>	<p>・相手の意見をよく聞き、協力して物事に取り組むことができる。</p> <p>・自分の考えや意見をもち、表現できる。</p> <p>教科等（国語、教科全般での学習指導） 特別活動（学級活動） 日常活動（朝の会、帰りの会等）</p>	<p>・他者のよさに気付き、進んで人間関係を築こうとする。</p> <p>・相手の気持ちを考えながら、集団活動に意欲的に取り組む。</p> <p>道徳（友情・信頼、尊敬・感謝） 特別活動（学級活動、児童会活動、学校行事） 日常活動（係活動等）</p>
	<p>・自分の好きなことや得意なことを表現できる。</p> <p>教科（生活科、図工、国語） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常活動（朝の会等）</p>	<p>・自分の良さや個性について考え、自分自身についての関心をもつ。</p> <p>特別活動（学級活動）</p>	<p>・自分の長所に気付き、自分らしさを発揮しようとする。</p> <p>・自分自身の生き方に関心をもつ。</p> <p>総合的な学習の時間 道徳（向上心、個性伸長） 特別活動（学級活動）</p>
勤労や職業に対する意欲・理解	<p>・当番や係の大切さを知り、自分の責任を果たすことができる。</p> <p>道徳（勤勉、誠実、尊敬・感謝） 特別活動（学級活動） 日常活動（清掃、給食、係活動）</p>	<p>・生活を支える人々の役割を知り、自らも進んで責任を果たそうとする。</p> <p>教科（社会科） 総合的な学習の時間 道徳（尊敬、勤労、誠実、勤勉） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常活動（清掃、給食、係活動等）</p>	<p>・社会生活には様々な役割があることや、その大切さを知る。</p> <p>・自己の役割を知り、進んで責任を果たそうとする。</p> <p>教科（社会） 道徳（勤勉、誠実、勤労） 特別活動（学級活動、児童会活動、学校行事） 日常活動（係活動等）</p>
	<p>・当番や係などの仕事をやりとげることに喜びに気付く。</p> <p>・家族の仕事や、身の回りの職業に関心をもつ。</p> <p>教科（生活科） 道徳（家族愛、勤勉、誠実） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常活動（清掃、給食、係活動）</p>	<p>・働くことの楽しさを知り、進んで係や当番に取り組む。</p> <p>・いろいろな職業があることを知り、職業についての興味・関心を高める。</p> <p>教科（社会） 道徳（勤労、誠実、勤勉） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常活動（清掃、給食、係活動等）</p>	<p>・生活を支える職業の役割や働くことの大切さ、苦勞を知る。</p> <p>・関心のある職業について、興味を広げ理解を深める。</p> <p>教科（社会） 道徳（尊敬） 特別活動（学級活動、学校行事） 総合的な学習の時間</p>
人生設計へのイメージ形成	<p>・学校や社会生活において、好きなものを見つけたたり、興味や関心を広げたりすることができる。</p> <p>教科（生活科） 特別活動（学級活動）</p>	<p>・夢や希望を膨らませながら、自らの将来について考えることができる。</p> <p>教科（図工） 特別活動（学級活動）</p>	<p>・憧れとする職業をもち、学習することや将来のことを考える大切さに気付く。</p> <p>教科（国語） 道徳（向上心、個性伸長） 特別活動（学級活動、学校行事）</p>
	<p>・要点をとらえた話の聞き方ができる。</p> <p>教科（国語、授業全般での学習指導） 特別活動（学級活動） 日常活動（朝の会、帰りの会等）</p>	<p>・図書を活用したり、インタビュー活動をしたりしながら、必要な情報を得ることができる。</p> <p>教科（理科、社会、国語） 総合的な学習の時間 特別活動（学級活動）</p>	<p>・多様な資料収集の方法を身に付け、必要な情報を的確に得ることができる。</p> <p>教科（社会、理科、国語） 総合的な学習の時間 特別活動（学級活動）</p>
課題解決の能力・態度	<p>・基本的な生活習慣を身に付け、身の回りのことは自分で解決できる。</p> <p>・きまりを守り、やるべきことを着実にやり遂げることができる。</p> <p>教科（生活科） 道徳（自立、勤勉、誠実、規則の尊重） 特別活動（学級活動） 日常活動（清掃、給食、係活動）</p>	<p>・自らの生活の向上をめざして目標を立て、その実現に向けて努力することができる。</p> <p>道徳（勤勉・努力、誠実） 特別活動（学級活動、学校行事）</p>	<p>・自らの生活の向上や将来の夢の実現を願い、目標とその実現方法を考え、主体的に努力することができる。</p> <p>道徳（向上心、個性伸長） 特別活動（学級活動、学校行事）</p>
	<p>・基本的な応答の仕方を身に付け、自分の意思を表現することができる。</p> <p>教科等（授業全般での学習指導） 道徳（礼儀） 特別活動（学級活動） 日常活動（朝の会、帰りの会等）</p>	<p>・自分と比べながら、友達の考えを聞くことができる。</p> <p>・分かりやすく自分の考えを表現することができる。</p> <p>教科等（国語、授業全般での学習指導） 特別活動（学級活動、学校行事） 日常活動（朝の会、帰りの会）</p>	<p>・話し合い等の場に進んでかわり、他者の意見を取り入れながら自己の意思を高めることができる。</p> <p>教科等（授業全般での学習指導） 特別活動（学級活動）</p>

月	題材名	指導要領の内容	指導のねらい	進路発達にかかわる能力							行事等との関連
				自己理解力	役割認識力	職業理解力	将来設計力	情報活用力	課題解決力	意思決定力	
4月	最高学年の役割	(2)	最高学年としての役割を知り、その責任を果たそうとする意欲とリーダーとしての自覚をもつ。								入学式
	学級目標を決めよう	(1)	一人一人が理想とする学級像を話し合い、その実現に向け、学級目標を決めることができる。								始業式
	学級組織を決めよう	(1)	学級生活の向上のために必要な組織と自分の役割を決め、活動意欲をもつ。								
	安全な登下校を考えよう	(2)	安全な登下校の仕方を知るとともに、自らの安全を主体的に守ろうとする意識をもつ。								
5月	修学旅行を成功させよう	(1)	修学旅行の目的を明らかにし、目的実現のための目標や約束を決めることができる。								修学旅行
	修学旅行を振り返ろう	(1)	目標や約束の達成状況を振り返り、旅行の成果と課題を今後の生活に生かそうとする。								児童総会
	そうじ名人になろう	(2)	そうじの仕方を振り返り、よりよいそうじの仕方を知るとともに、働くことへの一層の意欲をもつ。								
	運動会を成功させよう	(1)	運動会の成功に向けての意欲をもち、学級や個人の目標を立てることができる。								
6月	運動会を振り返ろう	(1)	目標の達成状況を振り返り、運動会の成果と課題を今後の生活に生かそうとする。								運動会
	歯の健康について考えよう	(2)	日常の歯磨きの様子を振り返り、正しい歯磨きの仕方を知り、実践に生かそうとする。								古代むら
	みんなのよさ・自分のよさ	(2)	友達や自分のよさを考えることをとおし、互いを大事にする気持ちをもち、温かな人間関係を築く。								プール開き
7月	学級集会の計画を立てよう	(1)	学級集会の意義を明らかにしながら、集会の目標や内容、役割等について話し合うことができる。								終業式
	学級集会をしよう	(1)	集会の目標に基づき、役割や約束を着実に果たしながら、学級の結びつきを強めることができる。								夏休み
	夏休みの計画を立てよう	(2)	夏休みを有意義に過ごそうとする意欲をもち、具体的な目標や計画を立てることができる。								
8月	2学期の目標を決めよう	(2)	1学期や夏休みの生活の反省を基に、具体的な目標を立て、2学期の学校生活への意欲をもつ。								始業式
	学級組織を決めよう	(1)	学級生活の向上のために必要な組織と自分の役割を決め、活動意欲をもつ。								
9月	たばこ健康	(2)	喫煙が健康に及ぼす影響を調べ、自らの健康を保持するためのくらし方を考えることができる。								祖父母参観
	働く姿から学ぼう	(2)	様々な職業や働く人々の様子を調べ、働くことの意義を考えたり、仕事への興味を広げたりする。								陸上記録会
	学習発表会を成功させよう	(1)	小学校最後の学習発表会の成功に向けて意欲をもち、学級や個人の目標を立てることができる。								
10月	学習発表会を振り返ろう	(1)	目標の達成状況を振り返り、学習発表会の成果を生かし、今後の生活のめあてをもつ。								学習発表会
	係活動を見直そう	(1)	これまでの活動を振り返り、学級生活の一層の充実につながる係活動を工夫することができる。								音楽発表会
	目の健康を考えよう	(2)	姿勢や明るさが目に及ぼす影響を調べ、目の健康を守るためのくらし方を理解することができる。								校内マラソン
11月	家庭学習を見直そう	(2)	家庭学習の意義やよりよい学習方法を考え、自らの向上に向けて、家庭学習への意欲をもつ。								図書館祭り
	読書は心の栄養	(2)	感動した本を紹介し合ったり、読書の価値を話し合ったりしながら、読書への親しみを広げる。								
	卒業に向けて	(1)	「卒業」の意義を知り、小学校のまとめとしての学校生活の過ごし方を考え、卒業までの見直しをもつ。								
12月	学級集会の計画を立てよう	(1)	学級集会の意義を明らかにしながら、集会の目標や内容、役割等について話し合うことができる。								金曜日の朝会
	学級集会をしよう	(1)	集会の目標に基づき、役割や約束を着実に果たしながら、学級の結びつきを強めることができる。								終業式
	冬休みの計画を立てよう	(2)	冬休みを有意義に過ごそうとする意欲をもち、具体的な目標や計画を立てることができる。								冬休み
1月	小学校生活最後の過ごし方	(1)	小学校生活最後の過ごし方を考え、3学期に向かう意欲をもち、具体的な目標を立てることができる。								始業式
	かぜとインフルエンザ	(2)	かぜやインフルエンザの原因を知り、それらの病気を罹患しないためのくらし方を考えることができる。								
2月	もうすぐ中学生	(2)	中学校生活に対する不安や悩みを解消し、新しい生活に向けた期待や希望をもつ。								スキー教室
	感謝の気持ちを伝えよう	(1)	小学校生活を支えてくれた人々の存在に気づき、お世話になってきた人々への感謝の気持ちを表現できる。								クロカノ大会
	命の誕生	(2)	命の誕生の様子や家族の心情等を調べ、自他の命を尊重しようとする心をもつ。								
3月	学級お別れ会をしよう	(1)	集会をとおして、お互いの成長やがんばりを認め合い、自他のよさに気付くことができる。								六送会
	6年間の成長を振り返ろう	(2)	自分や友達の成長を自覚し、新しい生活や将来に向けて夢や希望を膨らませることができる。								卒業式

内容の(1)は「学級や学校の生活の充実と向上に関すること」、(2)は「日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること」である。は、授業において育成をめざす主な能力である。

活動・行事・題材	学年	月	活動の主なねらい	進路発達にかかわる能力														
				コミュニケーション力	自己理解力	役割認識力	職業理解力	将来設計力	情報活用力	課題解決力	意思決定力							
学 校 行 事	1学期始業式	全学年	4	進級の喜びを感じ、新学年での学校生活における期待と目標をもつ。														
	入学式	1・高	4	新入生の入学を互いに喜び合い、新しい学校生活における夢や希望をもつ。														
	交通安全教室	全学年	4	正しい交通安全の仕方を知り、自らの身を守る安全意識を高める。														
	修学旅行	6	5	社会のルールを学ぶとともに、見聞を広げたり、課題を追究したりする力を高める。														
	運動会練習	全学年	5~6	運動会の目標を立て、その実現に向かって努力できる。														
	運動会	全学年	6	集団行動の仕方を学び、目標に向かって努力したり、責任を果たしたりする態度を身に付ける。														
	プール清掃	4~6	6	進んで働くこととする意欲をもち、自分の仕事を着実にやり遂げることができる。														
	古代むら体験学習	4	6	集団行動のルールを知るとともに、自己の責任を果たすことの大切さや集団活動の楽しさに気付く。														
	林間学校	5	6	自然との触れ合いや集団活動とおし、自他のよさに気付いたり、自己の興味を広げたりする。														
	1学期終業式	全学年	7	1学期の学校生活での成長と課題を振り返り、夏休みに向けての目標をもつ。														
	陸上記録会	5・6	9	学校の代表としての誇りをもち、目標をもって、応援や競技に力を発揮できる。														
	学習発表会	全学年	10	自分のめあてをもって活動に取り組み、創造力や表現力を高める。														
	2学期終業式	全学年	12	1学期の学校生活での成長と課題を振り返り、夏休みに向けての目標をもつ。														
	3学期始業式	全学年	1	これまでの学校生活の反省を生かしながら、新学期に臨む意欲と目標をもつ。														
	スキー遠足	全学年	2	スキーをとおり、集団で活動することの楽しさや、集団行動のルールを知る。														
	体育館ワックス塗り	6	3	校舎への感謝の気持ちをもち、進んで仕事に取り組み、勤労の喜びを知る。														
	修了式練習	1~5	3	修了式の意義を知り、一年間のまとめとしての態度を考え、練習に参加できる。														
	修了式	1~5	3	一年間の自らの努力と成長に自信をもち、次年度への期待と目標をもつ。														
	卒業式練習	4~6	3	それぞれの学年における卒業式の意義を知り、目標をもって練習に取り組むことができる。														
卒業式	4~6	3	6年生の卒業を互いに喜び合い、それぞれの新しい生活に臨む期待と目標をもつことができる。															
児 童 会 活 動	1年生を迎える会	全学年	4	新入生の入学を全校で喜び、その気持ちをそれぞれの立場で意欲的に表現する。														
	児童総会	3~6	5	学校生活のよりよい充実のために、仕事や役割を考え、進んで話し合う。														
	ゲーム集会	全学年	9	約束を守ったり、役割を果たしたりしながら、集団ゲームを楽しみ、友達を増やす。														
	長縄跳び大会	全学年	2	大会の目標を立て、その実現のために互いに協力しながら努力できる。														
	6年生を送る会	全学年	2	互いに感謝の気持ちを感じ合い、それぞれの学年で協力し合いながらその気持ちを表現できる。														
	委員会活動	5・6	通年	所属する委員会や自分の仕事の役割を考え、主体的に活動に取り組むことができる。														
ク ラ ブ	クラブ活動	4~6	4~12	自己の興味や関心を広げたり、友達との交流を深めたりすることができる。														
	クラブ活動見学	3	12	自己の興味や関心のあることについて考え、所属クラブを決定できる。														
日 常 活 動	日直当番	全学年	通年	大きな声で挨拶したり、仕事を着実にやり遂げたりしながら、責任感をもって役割を果たす。														
	係活動		通年	学級生活における仕事の役割を考え、主体的・創造的に活動できる。														
	全校朝会		通年	清新な学習意欲を高めたり、規律ある集団行動や表現力を身に付けたりする。														
	児童朝会		通年	自己の役割を自覚して集会に臨み、主体的な表現活動ができる。														
	縦割り班清掃		6~7 11~12	班内での自分の役割を理解し、協力し合いながら、意欲的に清掃に取り組む。														
	縦割り班自由遊び		通年	班内での自分の立場を理解し、協力し合いながら、楽しく遊ぶことができる。														
	清掃活動(通常)		通年	清掃活動の意義を知り、進んで仕事に取り組み、働くことの喜びに気付く。														
	給食活動		通年	当番の仕事を着実に果たしたり、食事をとおして友達との交流を深めたりする。														